MUFGの「お客さま本位の取り組み」

- **MUFGは、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、グループ共通の指針となる「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」を策定・公表しております。**
- **本方針の下、グループ各社がお客さま本位の姿勢を共有し、商品・サービスのさらなる向上に取り組み、その取組状況を定期的に公表しております。**
- **当資料では、主に個人投資家の皆さま向けに、MUFGグループ各社の2022年度の取組状況、2023年度のアクションプランを具体的な指標（KPI）・取組事例とあわせて取り纏めております。**

MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針			
行動規範 1-1 **誠実な行動**	1. お客さま本位の徹底	【原則2】[1]	P 3-5
	2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供	【原則6】	P 6
	3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践	【原則4・5・6・7】	P 7-14
行動規範 1-2 **品質の追求**	4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備	【原則3・6】	P 15-18
	5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化	【原則3・6】	P 19-20
	6. 資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上	【原則2・6】	P 21
行動規範 1-3 **期待を超えるサービスの提供**	7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供	【原則2】	P 22
	8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備	【原則6】	P 23
	9. プロフェッショナリズムの発揮	【原則2】	P 24
共通KPI			P 25-44

1 （注） 1.【原則】は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改訂）との対応を示しております

MUFGのグループ各社

■ **2022年度の取組状況、2023年度のアクションプランおよび具体的な指標（KPI）を策定・公表しているグループ各社は、以下の通りです。**

グループ各社の担う主な機能・役割

販売	商品開発・運用	資産管理
三菱UFJ銀行（銀行）		
三菱UFJ信託銀行（信託）		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券（証券）		
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券[2]（PB証券／19年度（’20/3）まで）		
auカブコム証券（カブコム）		
	三菱UFJ国際投信（MUKAM）	
	エム・ユー投資顧問（MUI）	
	三菱UFJオルタナティブインベストメンツ（MUAIts）	
		日本マスタートラスト信託銀行（MTBJ）

（　）は当資料におけるグループ各社の略称

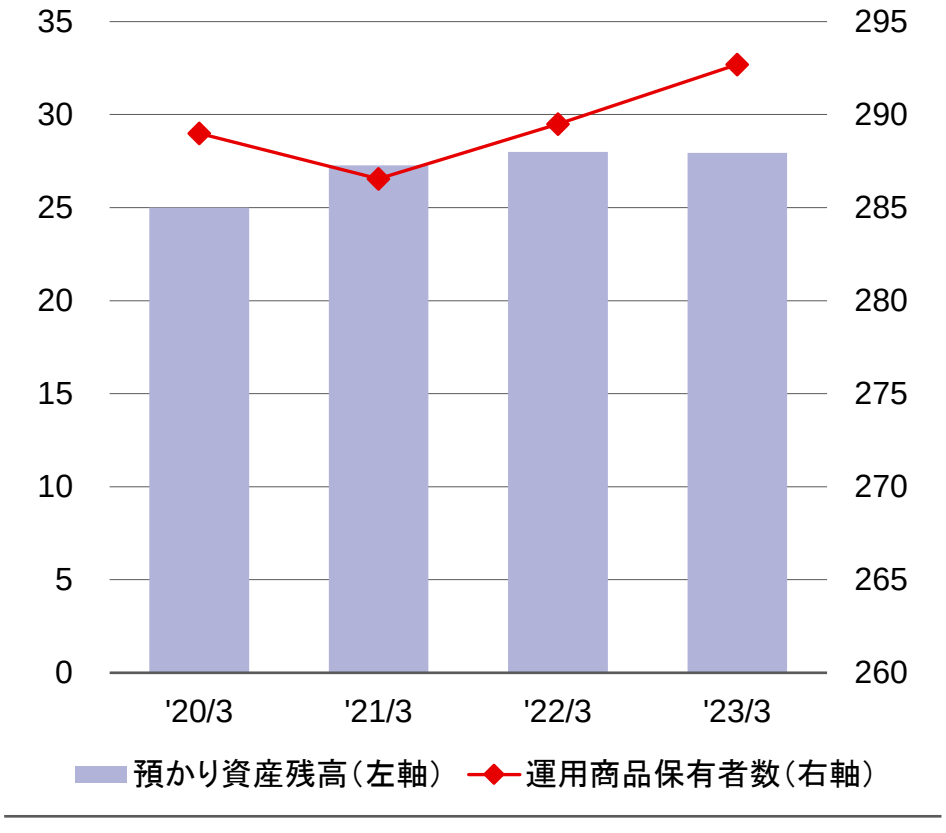
（注） 2. 2020年8月1日に三菱UFJモルガン・スタンレー証券と合併（以降の’20/3の三菱UFJモルガン・スタンレー証券の数値は三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券の数値を含む）

1. お客さま本位の徹底

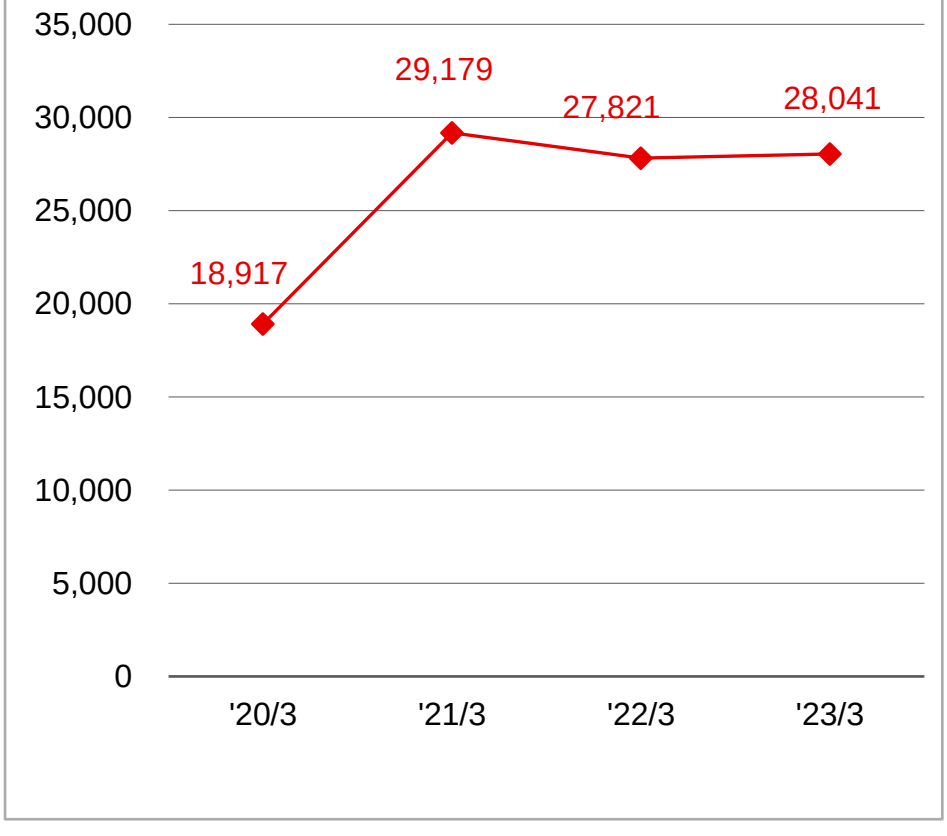
(1) 社会的責任の重さを一人ひとりが十分に認識し、常に公明正大かつ誠実な姿勢と高い職業倫理を持ち、お客さま本位の業務を徹底してまいります。【原則2】

■ 預かり資産残高は、足元の市況の変化による時価要因の影響もあり、増加しました。引き続き、中長期・資産分散型の提案を中心とした取り組みなどにより、お客さま本位の業務を徹底してまいります。

預かり資産残高（兆円）、運用商品保有者数（万人）[3]　MUFG[4]



＜ご参考＞日経平均株価終値推移（円）

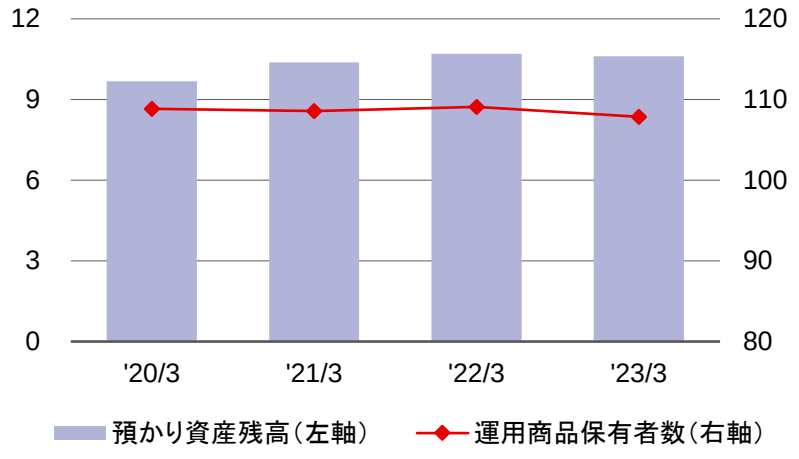


（注） 3. 個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース
4. 対象範囲は、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、auカブコム証券

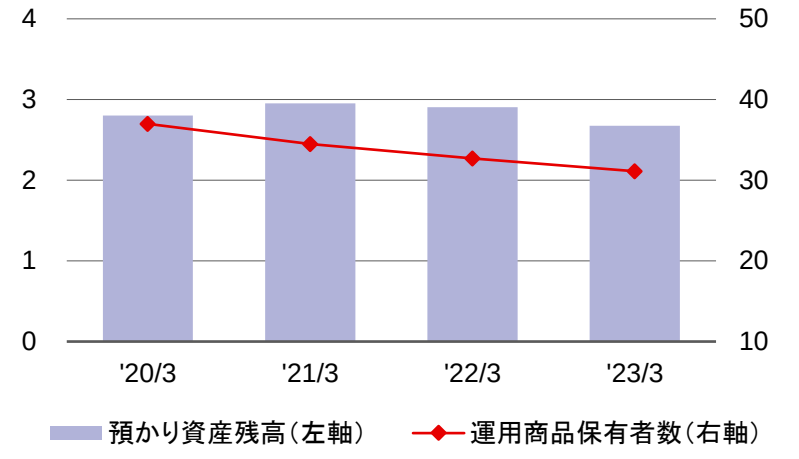
1. お客さま本位の徹底

預かり資産残高（兆円）、運用商品保有者数（万人）[5]

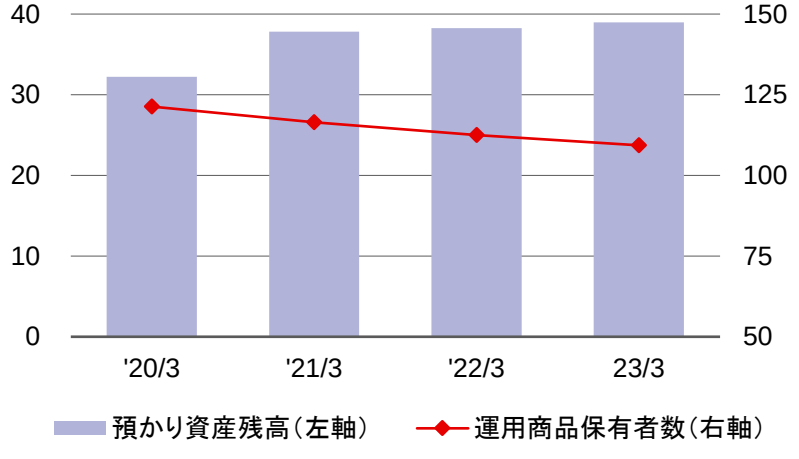
銀行



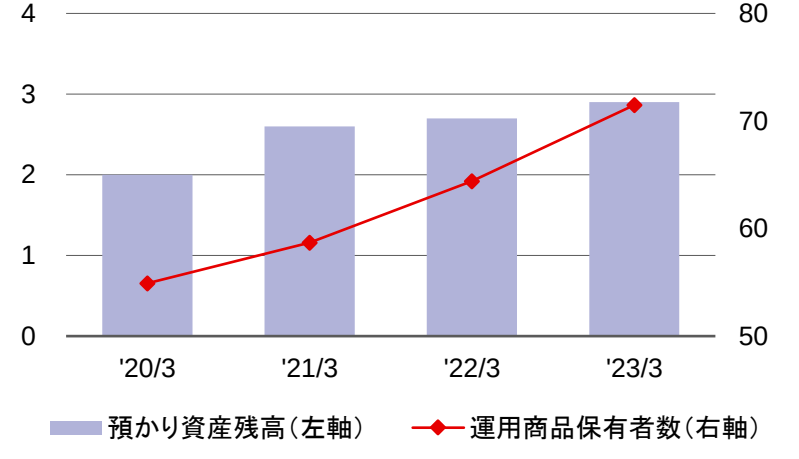
信託



証券



カブコム

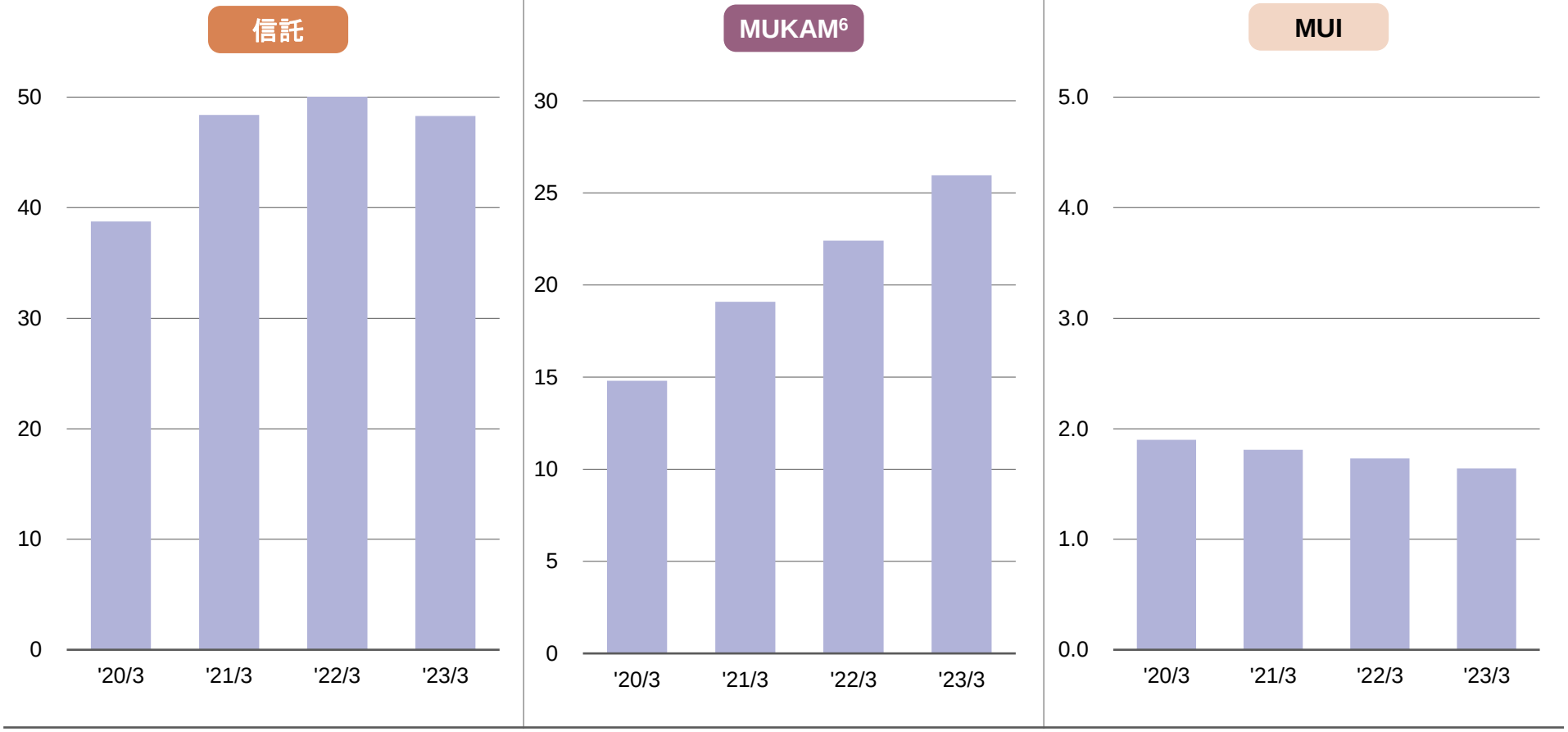


（注）5. 銀行・信託:　個人のお客さまの取引実績、管理会計ベース
証券・カブコム:個人・法人のお客さまの取引実績、管理会計ベース（金融商品仲介口座含む）

1. お客さま本位の徹底

- 信託銀行およびエム・ユー投資顧問（MUI）では、主に機関投資家のお客さまの中長期的な投資ニーズに応える商品を、三菱UFJ国際投信（MUKAM）では、主に個人のお客さまの資産形成に貢献する商品を開発・提供し、お預かりした資産の運用により、お客さまに最良の投資成果をご提供することを目指しています。
- お客さまからお預かりした運用資産は、受託者責任の下、専ら受益者の皆さまの利益に忠実に運用・管理し、中長期的な資産の成長に努めてまいります。

運用資産残高（兆円）



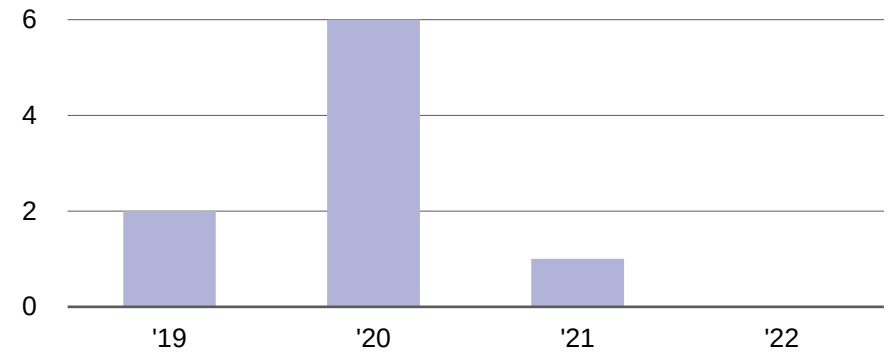
（注） 6. 投資信託残高および投資顧問契約残高の合計

2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供

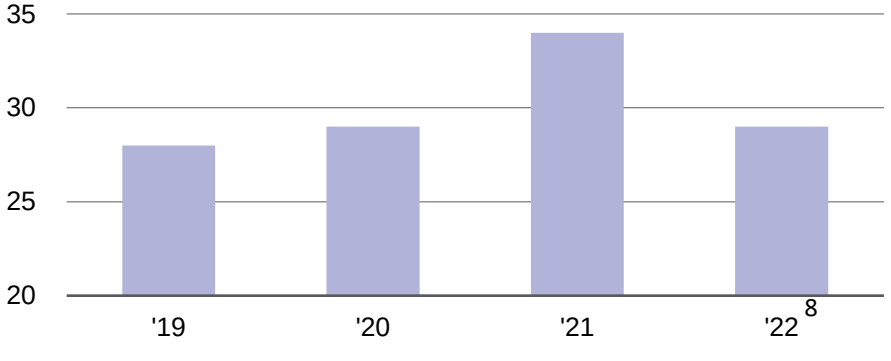
(1) 常にお客さま本位で考え、お客さまのニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】

- 市場動向や、グローバル運用等のお客さまの多様なニーズに応えるため、自社運用に加えて、高い目利き力による外部運用も含めた商品を開発・提供しています。
- また、販売者には想定顧客の情報を提供し、販売活動をサポートしています。

R&I ファンド大賞受賞本数(本)[7]　信託



ファンドアワード受賞本数(本)[8]　MUKAM



8

＜ご参考＞ MUKAM「優良日本株ファンド(愛称:ちから株)」

- 当ファンドは、過去3年間の良好なパフォーマンスが評価され、“R&Iファンド大賞 2023” の「国内株式コア」部門において最優秀ファンド賞を受賞いたしました。
- 当ファンド(2009年3月設定)は、国内の株式を実質的な主要投資対象とし、競争力のある優良企業の株式の中から、割安と判断される銘柄に投資することにより、値上がり益の獲得をめざします。銘柄選定にあたっては、株価の割安度等に着目して30～50銘柄程度に投資を行います。
- 当ファンドにおいては
  ①健全なバランスシートを持つ企業
  ②高い業界シェアを持つ企業
  ③株主への積極的な姿勢を持つ企業
  を「競争力のある優良企業」と定義し、銘柄選択の際に重視しています。

- 企業の利益成長による株価上昇に加えて、本来の実力(企業価値)と比較して過少評価されている割安な企業が再評価されることによる株価上昇も狙いにいくのが当ファンドの特徴です。

(注) 7. 2020年6月公表–2023年6月公表までの数値
8.ファンドアワード受賞本数は、R&Iファンド大賞(R&I)、リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード(リフィニティブ・ジャパン)、投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year(投信ブロガーによる運営委員会)の受賞合計

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの知識・経験・財産の状況およびお取引の目的に照らし、適切な商品をご提案するとともに、タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。【原則6】

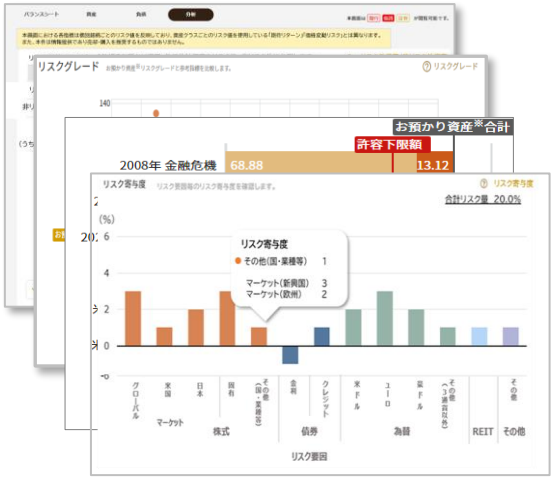
■ 商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況や目的に照らして商品を選定しています。特に高齢のお客さまや投資の知識・経験が十分では無いお客さまへはリスクを抑えた商品をご提案する等、お客さまのライフステージや属性を踏まえ、各種シミュレーションツールを用いて、お客さまの課題解決に資するゴールベースでのご提案を行い、お客さまニーズに沿った商品をご提案してまいります。

＜ご参考＞シミュレーションツール

- MUFGでは、様々なポートフォリオ分析ツールを用い、お客さまのニーズやリスク許容度に応じたポートフォリオ提案を行っております。
- 2022年2月にリリースしたMUFGゴールプランニングシステムでは、お客さまが保有する運用資産をリスク・リターンの状況も含めて可視化することで、お客さまの現状把握を促し、よりお客さまのご意向や目的に沿ったご提案となるよう努めています。
- また、2023年7月には、お客さまの資産に潜在する様々なリスクを可視化する新機能「リスク分析機能」をリリースします。

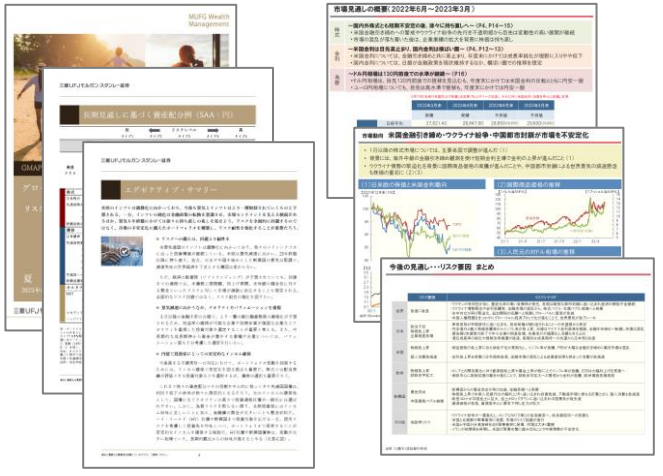
MUFGゴールプランニングシステム

【新機能】リスク分析機能（2023年7月～）



＜ご参考＞ハウスビュー*

- 市場動向が大きく変化した場合等、相場見通しや商品の運用状況をはじめ、お客さまの投資判断に必要な情報をご提供するなど、タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。



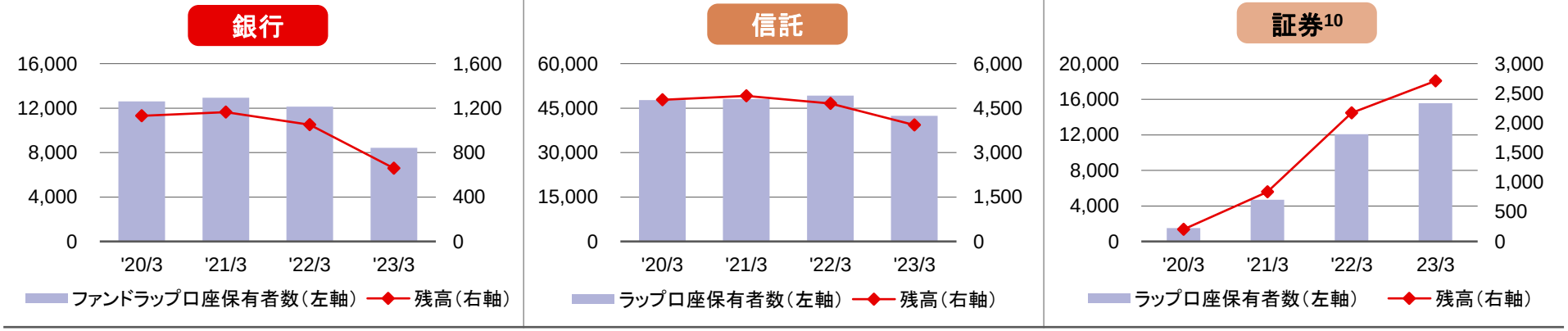
*「ハウスビュー」とは、資産運用における組織としての公式な「投資見解」を指します

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

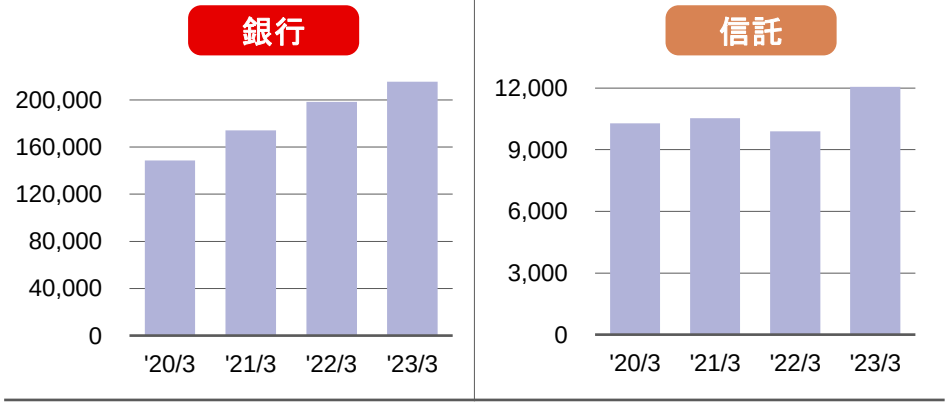
■ 安定的な運用成果をご享受いただくため、ファンドラップやバランス型ファンド、複数の運用商品をお持ちいただくご提案をしております。また、お客さまの運用スタンスに応じた効率的な資産配分を意識して、コンサルティングを通じた資産運用のポートフォリオ提案を行っております。

■ 時間分散・長期保有の観点では投信つみたてやつみたてNISA等をご提案しております。

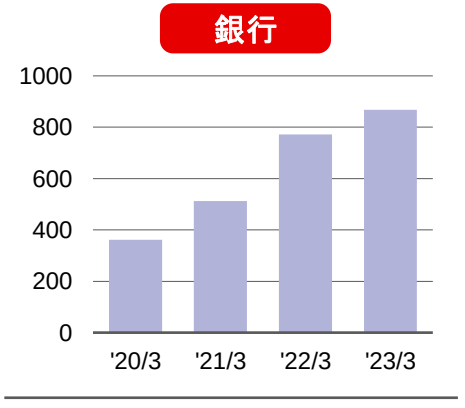
ラップ口座保有者数(人)・残高(億円)[9]



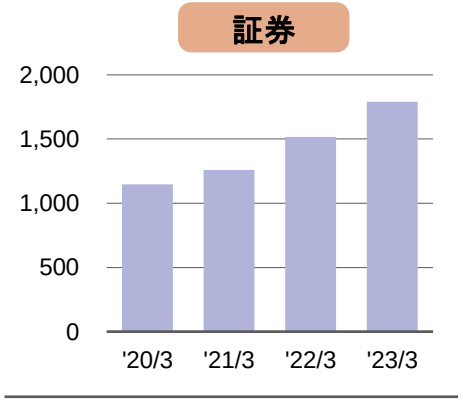
投信つみたて(つみたてNISAを含む)保有者数(人)



投信つみたて振替額(億円)



投信つみたて保有者数(人)[11]



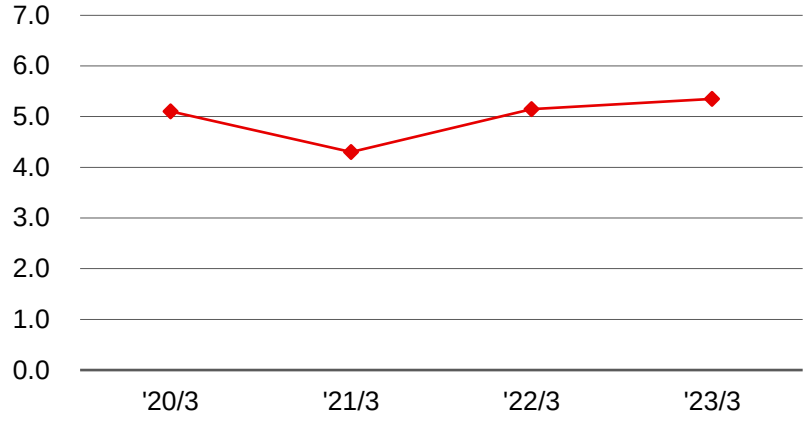
(注) 9. 銀行はMUFGファンドラップ、信託は資産運用口座(プライベートアカウント等)とMUFGファンドラップの合計
10. 個人口座のみ、'21/3までGRAN GOALのみ、'22/3からGRAN GOAL・Mirai Value
11. 買付が行われた口座数

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

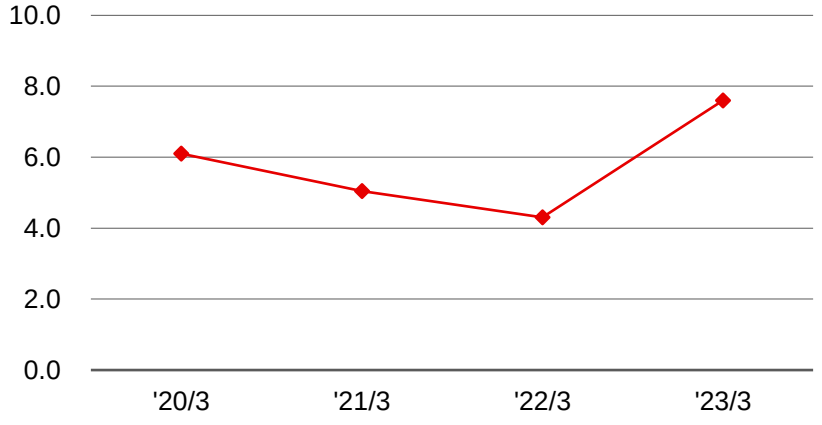
■ 平均保有期間は、ポートフォリオ提案活動による、運用資産組み換え等の影響から短期化も、引き続き中長期保有に資するご提案に努めてまいります。

投資信託の平均保有期間（年）[12]

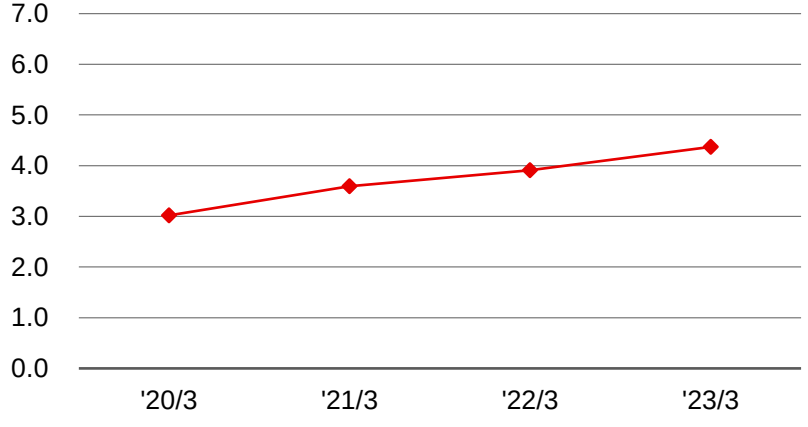
銀行



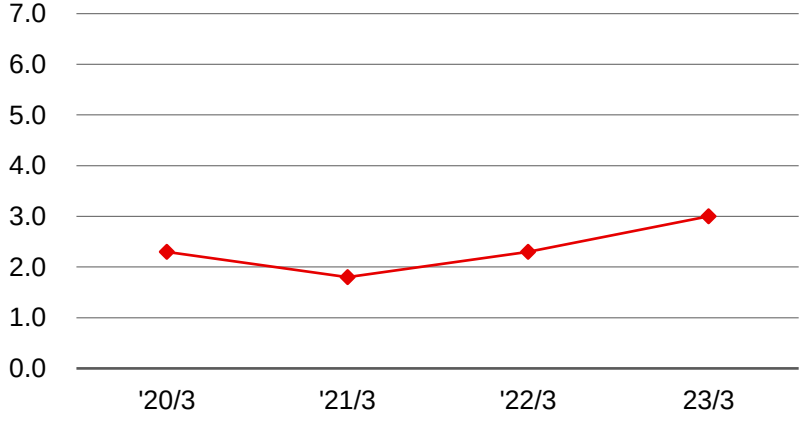
信託



証券



カブコム



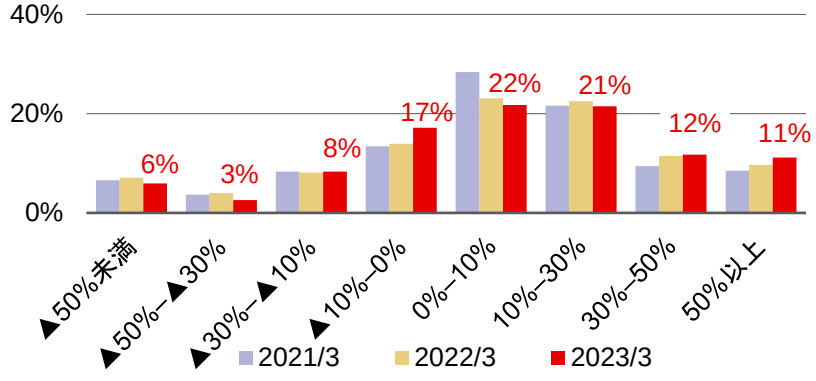
（注）12. 投信平均保有残高（ファンドラップ合算）を解約・償還額の累計（ファンドラップ合算）で除したもの（それぞれ過去1年間）。なお、証券は、2015年6月以降のデータで算出

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

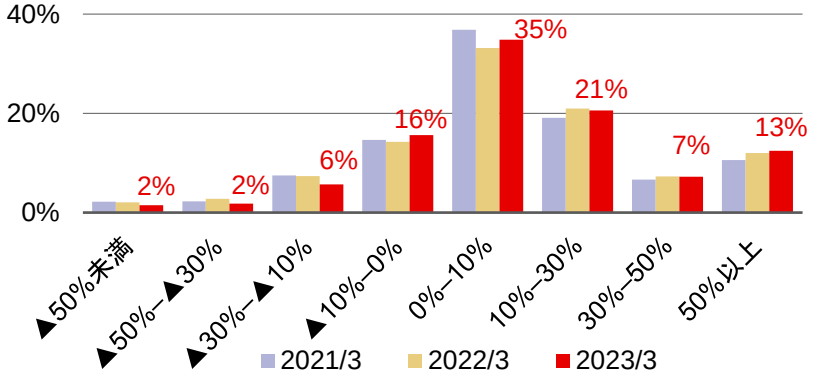
＜ご参考＞合算トータルリターンの公表　証券

- 証券では、お客さまの投資方針やリスク許容度に応じて幅広い商品を組み合わせて運用いただく資産ポートフォリオを重視しており、投資信託・ファンドラップに加えて株式・債券も含めた合算の運用損益状況でも評価しております。
- 合算の運用損益は安定的に推移しており、分散投資の効果を確認できております。
- なお、投資信託と同様に、過去の売却や償還による実現損益を勘案した結果も公表いたします。

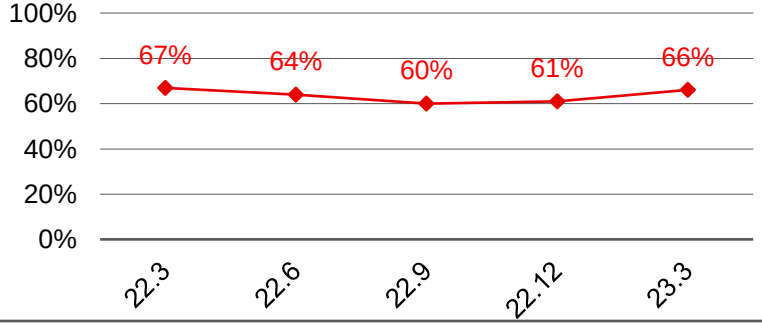
保有資産運用損益別顧客比率[13]　証券



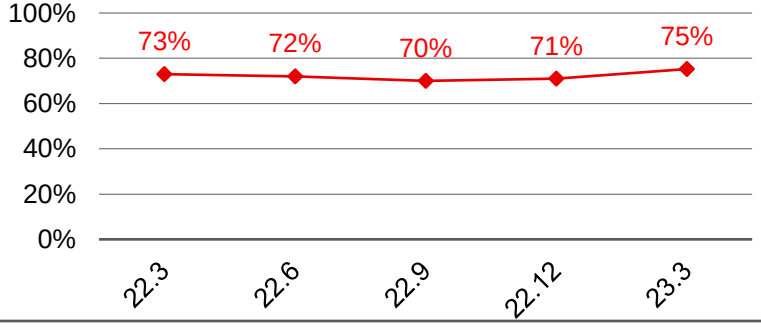
実現損益を含む保有資産運用損益別顧客比率[14]　証券



【2022年度の運用損益プラス顧客比率の状況】（実現損益を含まず）



（実現損益を含む）



（注）13. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の株式、債券、投資信託、ファンドラップが対象
14. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。現在保有中の株式、債券、投資信託と、2014年12月以降（PB証券は2014年1月以降）に売却または償還となった株式、債券、投資信託の実現損益が対象

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(2) お客さまの理解度に応じて、商品やリスクの内容、手数料および市場動向等の情報を、きめ細かく提供してまいります。【原則5】

- 商品のご提案にあたっては、より分かりやすい表現で商品の特色・リスク・手数料ならびに市場動向等のご説明を行い、重要な情報は文字の大きさ、色等で特に目立つように表示する等の取組みを通じて、必要な情報を十分にご提供してまいります。なお、簡潔な情報提供および多様な商品の比較を容易にするため、重要情報シート（個別商品編）を順次導入し、分かりやすく情報をご提供してまいります。また、お客さまに分かりやすい情報をご提供するためにタブレット端末等を活用し、シミュレーションや図表等を用いて利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件を分かりやすくご説明するよう取り組んでいます。
- その他、お客さまが商品をご選択いただきやすいようなご説明資料や、商品ご提案に際して、タブレット端末等を用いたポートフォリオ・運用シミュレーションのご提示等を通じて、お客さまと対話をしながら、より良いご提案につなげていく取組を行っております。

＜ご参考＞重要情報シート（個別商品編）

投信

ラップ

保険

＜ご参考＞保険における取組み

外貨建て保険リスク説明資料（銀行・信託）

ポイント

- 外貨建て保険が持つ為替リスクや中途解約リスクの説明だけでなく、保険以外の取扱い商品もご提示し、生命保険の特徴を比較説明致します

MUFG

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(3) お客さまの投資判断に資するよう、手数料等の透明性向上を図ります。【原則4】

■ 手数料等がどのようなサービスの対価であるかについて、お客さまに分かりやすい提供に努めてまいります。

手数料開示の考え方

銀行

■ 金融商品の勧誘・販売時は契約締結前交付書面、目論見書、販売用資料等に基づき、重要な確認事項を纏めた「重要情報シート」等を用いて、お客さまがご理解されたかの確認をいたします。

■ 重要情報シートでは、手数料をはじめとした重要事項を分かりやすくご提示しており、リスクや運用実績など、他の投資商品との比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めています。

信託

■ 重要情報シートを用いて、手数料をはじめとした重要事項を分かりやすくご提示いたします。手数料のレンジ記載（投信）など、他の投資商品との比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めてまいります。また、組成にかかるコスト開示のない商品においては、類似の商品との比較をご説明する等の取り組みを行い、お客さまが商品内容をご理解できるように努めます。

証券

■ 投資信託の主要銘柄、仕組債、外貨建て保険、ラップにて重要情報シートを導入し、購入時に支払う費用、継続的に支払う費用、運用成果に応じた費用の3つの観点で開示（加えて、仕組債については2022年11月から組成費用を開示）を行っており、類似商品との比較に使用いただけます。引き続き、重要情報シート対象銘柄の拡大を進めてまいります。また、一般債の既発債取引については手数料（販売役務の対価）率の上限を開示しています。

＜ご参考＞証券の取組（一般債） 証券

■ 2023年4月より、証券のホームページにて下記表の下線部分を追記しております。

	手数料等の費用
国内債券 外貨建債券	非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価（取引価格×数量）のみお支払いただきます。 なお、取引価格には、募集・売出しによりお取引いただく場合を除き、販売・管理に関する役務の対価相当額が含まれており、その料率は原則として5%が上限となっております。

＜ご参考＞信託の取組（MUFGファンドラップ） 信託

■ 2023年4月に重要情報シートにてお客さまにご負担いただく総コスト概算を開示しております。

✧ お客さまにご負担いただく費用の概算について

コース	スタイル	お客さまにご負担いただく費用の概算（年率・消費税を含む）当初２年間		
		直接ご負担いただく費用	間接的にご負担いただく費用	合計
リスク分散コース	安定成長型 ヘッジファンドあり	1.309%	0.676%	1.985%
	安定成長型 ヘッジファンドなし		0.501%	1.810%
	成長型 ヘッジファンドあり		0.686%	1.995%

MUFG

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(4) お客さま本位の取組みに適合した業績評価体系を整備してまいります。【原則7】

- **投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。**
- **商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客さまの立場で資産形成に資する商品を選定し、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。**

業績評価体系

銀行

- お客さまの利益・ニーズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続していきます。また、運用・保障性商品の預り資産残高の項目を設定し、長期的な視野にたったうえで、お客さまの最善の利益を追求する体制を構築しております。

信託

- お客さまの利益・ニーズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続していきます。また、顧客ロイヤルティを評価する業績評価体系を導入するとともに、より長期的な視野にたったうえで、お客さまの最善の利益を追求する体制を構築してまいります。

証券

- ご信頼の証としてのお預り資産の拡大およびお客さまニーズへの対応力（プロフェッショナルとしての専門性向上）を評価する体系を整備し、お客さまに寄り添った持続的な成長を目指します。
  預り資産純増やストック資産純増の項目を設定し、お客さまの最善の利益が担当者の評価に結びつくような業績評価体系としております。

＜ご参考＞業績評価体系のポイント

- MUFG各社では、「お客さまの中長期的なお預かり資産の拡大」を目指すべく、お客さまの資産運用残高の純増を中心に評価する体系を導入しており、お客さまの最善の利益を追求する体制となっております。

各社の資産運用残高に関する評価項目（例）

銀行	項目名	運用・保障性商品残高（個人）／ストック残高
	対象商品	投資信託、ファンドラップ、投資助言サービス、生命保険、外貨預金
	評価方法	純増額（増加取引額（販売※等）－減少取引額（売却等））の積上げを評価
信託	項目名	投資商品残高純増
	対象商品	投資信託、生命保険、ファンドラップ、金銭信託
	評価方法	純増額（増加取引額（販売※等）－減少取引額（売却等））の積上げを評価
証券	項目名	ストック資産純増額
	対象商品	投資信託、生命保険、ラップサービス、投資助言サービス等
	評価方法	純増額（増加取引額（販売※等）－減少取引額（売却等））の積上げを評価

※更につみたて投資促進を目的とした評価体系あり

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(5) お客さまの資産形成をサポートする様々な投資教育の機会を提供してまいります。【原則6】

- 「MUFG資産形成研究所」では、家計の安定的な資産形成の促進という社会課題解決に向けて、人生100年時代をより豊かに過ごしていただくための資産形成・資産運用等に関する調査研究・情報提供を中立的な立場で行っています。
- 2022年度は老後資産の取り崩しや金融リテラシーの変化についての調査等を実施して、調査結果をお客さまに広く活用していただくために、WEBサイトでの調査研究レポート公表、メディア出演等をはじめとした様々な機会で情報を発信いたしました。

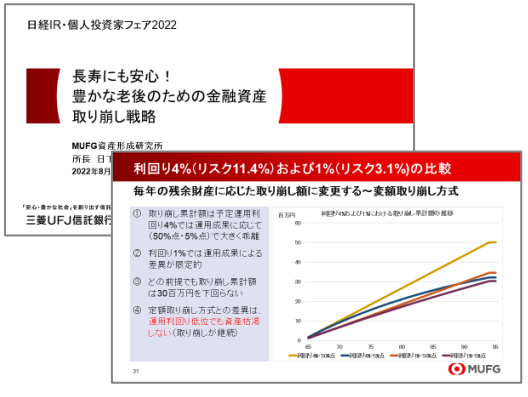
＜ご参考＞ WEBサイトでのレポート掲載による情報提供

- 「老後資産取り崩しを考える」では、老後資産形成については現役時代における積立段階がクローズアップされるなか、形成した資産をリタイア後に活用していく方法等について考察し、情報を発信しました。
- 「企業勤務者における金融リテラシーの変化とその要因」では、企業勤務者の金融リテラシーの経年変化や「投資」のイメージと資産形成への関心等について調査し、投資未経験の方が投資を始める際のご参考としていただける情報を発信いたしました。

WEBサイト掲載のレポート

＜ご参考＞メディアを通じた情報提供

- **日本経済新聞電子版**
  「100年の資産形成」特集内で、当研究所長が人生100年時代における資産形成の考え方についてご紹介いたしました。
- **日経IR・個人投資家フェア2022**
  当研究所長が講演の1コマに登壇して、老後資金の取り崩し戦略について事例も交えながら講演いたしました。



4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

(1) お客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客さまの多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客さまの立場で資産形成に資する商品を選定し、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。

投資信託ラインアップ（2023年3月末）　銀行　信託　証券　カブコム

カテゴリ	銀行[15]		信託[16]		証券[17]		カブコム[18]	
	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	12	2%	12	3%	10	2%	45	3%
国内株式	63	12%	57	12%	107	16%	273	17%
海外債券	107	20%	128	27%	224	34%	317	19%
先進国	67	13%	86	18%	140	21%		
ハイイールド	10	2%	13	3%	43	6%		
エマージング	30	6%	29	6%	41	6%		
海外株式	196	38%	143	30%	196	30%	536	33%
先進国	166	32%	120	25%	166	25%		
エマージング	30	6%	23	5%	30	5%		
REIT	45	9%	31	7%	40	6%	121	7%
バランス型	84	16%	85	18%	58	9%	237	14%
その他	15	3%	15	3%	27	4%	114	7%
合計	**522**	**100%**	**471**	**100%**	**662**	**100%**	**1,643**	**100%**

（注）15. 窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、金融商品仲介口座での取扱投信の合算。追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信は含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント
16. 窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）。追加型国内投信のみ（外国籍投信、単位型・マネープールファンドは含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント
17. 追加型投信のみ（外国籍投信を含み、単位型投信・マネープールファンド含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント
18. 追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめず各々1ファンドとしてカウント

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

■ 生命保険は、お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
■ 足元は人生100年時代に対応する介護・認知症・年金ニーズにそなえる商品等を拡充しています。

生命保険ラインアップ（2023年3月末）　銀行　信託　証券

	商品種類	銀行		信託		証券	
		取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
一時払	円建	9	35%	13	57%	6	43%
	投資型年金	0	0%	0	0%	0	0%
	定額年金	2	8%	4	17%	1	7%
	終身	7	27%	9	39%	5	36%
	介護・医療	0	0%	0	0%		
	外貨建	17	65%	10	43%	8	57%
	投資型年金	1	4%	1	4%	1	7%
	定額年金	5	19%	3	13%	2	14%
	終身	11	42%	6	26%	5	36%
	養老	0	0%	0	0%		
	合計	**26**	**100%**	**23**	**100%**	**14**	**100%**
平準払	終身保険	7	24%	2	29%	2	100%
	定期保険	4	14%	0	0%		
	医療・がん保険	12	42%	2	29%		
	学資保険	0	0%	0	0%		
	年金・養老保険	4	13%	1	14%		
	介護保険	2	7%	2	29%		
	合計	**29**	**100%**	**7**	**100%**	**2**	**100%**

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

- 多様な商品をお客さまがご選択いただけるよう、的確な情報提供に努めております。
- 銀行・信託では、ファンドラップやバランス型ファンドなどの安定的な商品が、証券では2019年度に取り扱いを開始したラップサービス、株式系ファンドが販売上位にランクインしております。

投資信託・ファンドラップ[19]販売額上位10銘柄、販売額割合（2022年度）

銀行

No	ファンド名	区分[20]	毎月分配	販売割合
1	eMAXIS 日経225インデックス	ベーシック		11%
2	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	ベーシック		7%
3	MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（標準型）	ベーシック		6%
4	三菱UFJ インデックス225オープン	ベーシック		6%
5	MUKAM先進国好利回りCBF202303為替Hなし限定追加	アドバンスト		3%
6	GSグローバル社債ターゲット2022－12（限定追加型）	ベーシック		3%
7	MUKAM先進国好利回りCBF202303為替Hあり限定追加	アドバンスト		3%
8	eMAXIS Slim 国内株式（日経平均）	ベーシック		3%
9	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	アドバンスト		2%
10	MUFG ウェルス・インサイト・ファンド（積極型）	ベーシック		2%

信託

No	ファンド名	区分[20]	毎月分配	販売割合
1	MUFG ファンドラップ	ベーシック		21%
2	GSグローバル社債ターゲット2022-12（限定追加型）	ベーシック		9%
3	ﾆｯｾｲ/ｼｭﾛｰﾀﾞｰ好利回りCBﾌｧﾝﾄﾞ2023-02(ﾍｯｼﾞあり･限定追加型)	アドバンスト		9%
4	eMAXIS日経225インデックス	ベーシック		4%
5	インデックスファンド225	ベーシック		3%
6	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	アドバンスト	○	3%
7	ﾓﾙｶﾞﾝ・ｽﾀﾝﾚｰ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾌﾟﾚﾐｱﾑ株式ｵｰﾌﾟﾝ（為替ﾍｯｼﾞなし）	アドバンスト		3%
8	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	ベーシック		2%
9	NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジなし）	ベーシック		2%
10	ｱﾗｲｱﾝｽ・ﾊﾞｰﾝｽﾀｲﾝ・米国成長株投信D(ﾍｯｼﾞなし・予想分配)	アドバンスト	○	2%

証券

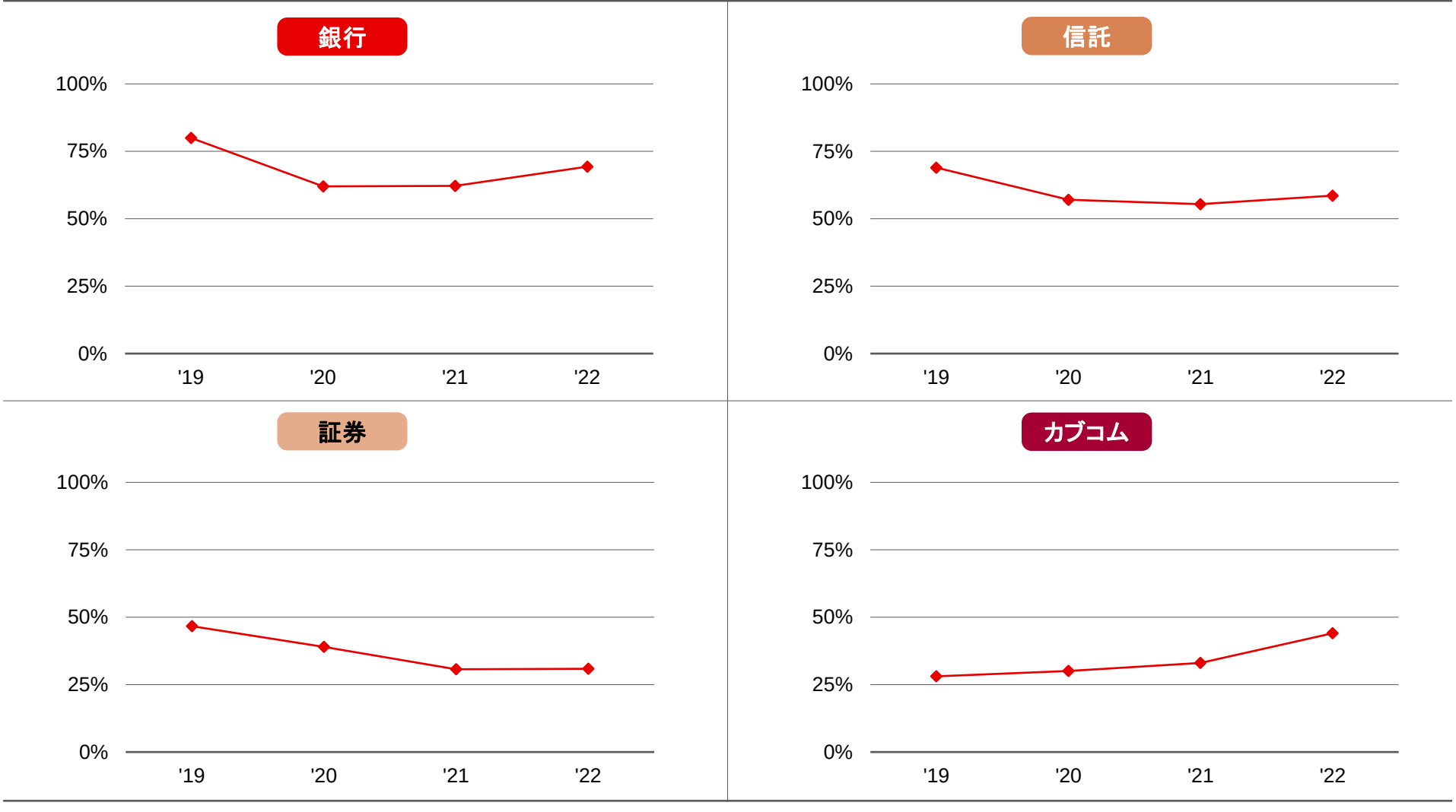
No	ファンド名	区分[20]	毎月分配	販売割合
1	GRANGOAL	ベーシック		19%
2	JPMグローバル高利回りCBファンド（為替ヘッジあり、限定追加型）2022-08	アドバンスト		7%
3	グローバルCoCo債ファンド 円ヘッジコース	アドバンスト	○	2%
4	マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	アドバンスト	○	2%
5	フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アドバンスト		2%
6	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	アドバンスト		2%
7	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	アドバンスト	○	2%
8	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	アドバンスト		2%
9	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	アドバンスト	○	2%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	アドバンスト	○	2%

（注）19. 銀行: 窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、ファンドラップ、金融商品仲介での取扱投信の合算
信託: 窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、ファンドラップの合算
証券: 公募投信（ETF、REIT、短期金融型投信を除く）、ラップサービスの合算
20.「ベーシック」商品は、投資環境の変化に応じ資産配分を調整するタイプのバランス型ファンド、為替変動リスクを抑え高格付け債券で運用するファンド、インデックス運用の株式ファンドのことで、これから資産運用を始められるお客さまやポートフォリオに組入れる基礎的な商品をご希望されるお客さま向けの商品。一方、「アドバンスト」商品は特定の国や地域等に投資するアクティブ運用の商品で、独自のポートフォリオを組んで運用したいお客さまにもご満足できる幅広い投資対象となっているもの

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

(2) 系列関係にとらわれることのない、商品選定および販売手続き等を整備してまいります。【原則3】

系列運用会社商品販売額比率

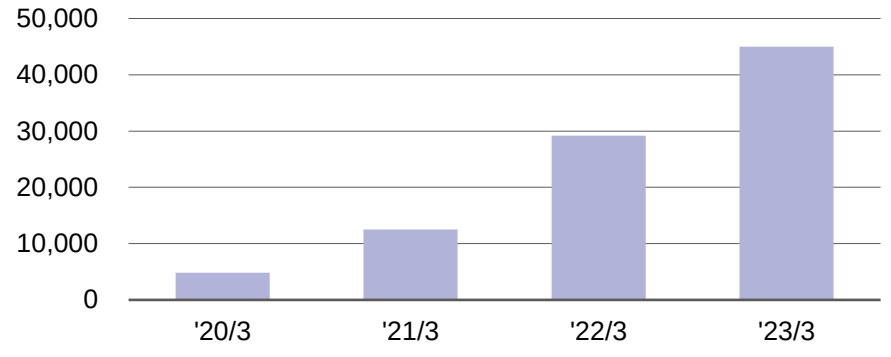


5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

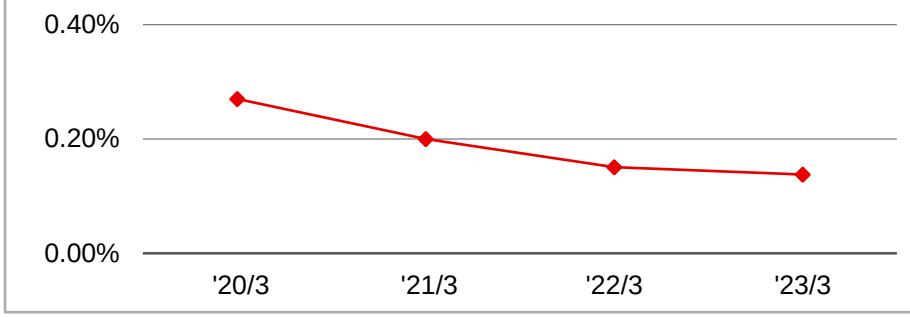
(1) 既存の運用手法の改善や新たな投資機会の追求に努めるとともに、運用・管理体制の高度化を図ってまいります。【原則6】

- 運用のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造するとともに、プロダクトガバナンスの高度化にも努め、最良の投資成果をお客さまに提供していくことをめざしてまいります。
- 積立投資によるお客さまの資産形成に貢献するため、「つみたてNISA」の対象商品を提供しています。そして、引き続きお客さまのニーズや投資環境に応じた商品拡充に努めてまいります。
- 積立投資は、金融商品を一定金額で定期的に購入することで、資産を育てていく投資手法です。積立投資の期間が長くなるほど、1年当たりの価格変動のブレが小さくなる効果が期待されます。

「つみたてNISA」対象商品の残高（億円）[21] MUKAM



＜ご参考＞「つみたてNISA」対象商品全体の信託報酬推移[23] MUKAM



「つみたてNISA」対象商品全体の積立投資パフォーマンス[22] MUKAM

積立期間	1年	3年	5年	10年
トータルリターン	1.7%	18.4%	28.9%	53.5%
（年換算）	（1.7%）	（6.1%）	（5.8%）	（5.3%）

2023年3月末基準

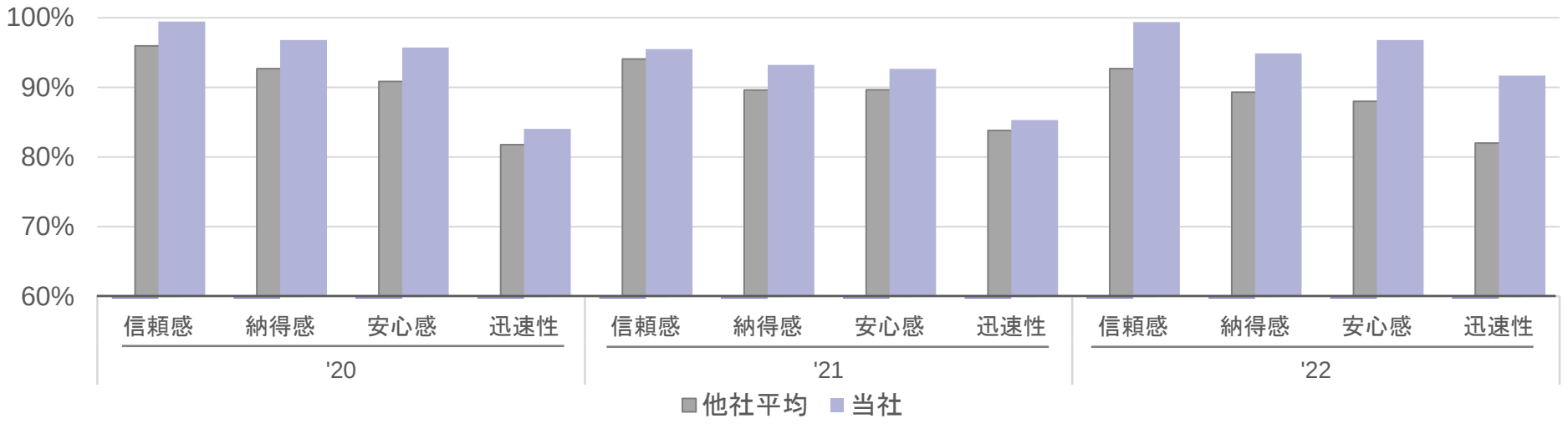
（注）21. 「つみたてNISA」の対象商品は、手数料が低水準、頻繁に分配金が払われない等、長期・積立・分散投資に適した商品として法令上の要件を満たし、金融庁にて届出が受理されたファンド
22. MUKAMの各「つみたてNISA」対象商品に、毎月一定額積立投資した場合のパフォーマンスを残高加重平均して算出（税金は考慮していません）。過去の実績に基づいた試算結果であり、将来の運用状況・成果を示唆・保障するものではありません
23. MUKAMの各「つみたてNISA」対象商品の信託報酬率を残高加重平均して算出

5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化

(2) 運用業務における独立性・透明性の確保を目的として、利益相反管理の徹底等運用機関としてのガバナンス態勢の強化に加え、スチュワードシップ活動の実効性をさらに高めてまいります。【原則3】

■ 運用の高度化に加え、「信頼感」「納得感」「安心感」「迅速性」のある情報提供ができているかを問う「個人投資家アンケート」を実施し、改善に努めています。引き続き、お客さまのご期待に応えられるよう、投資成果向上に向けた運用の高度化や、商品・サービス・情報提供のさらなる向上を目指してまいります。

運用会社からの情報提供の質・満足度に関する評価（好意的評価の比率）[24] MUKAM



（注）24. 調査概要／対象者：追加型株式投信（除くETF）残高上位9社のファンドを保有する、対象運用会社の投信を3年以内に購入した全国20–79歳の男女を対象としたインターネット調査（回答数：各年度2,511名）
好意的評価：保有するファンドの運用会社からの情報に対して、その運用会社に対する4項目のイメージについて「その通りである」「まあその通りである」と答えた割合

6.資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上

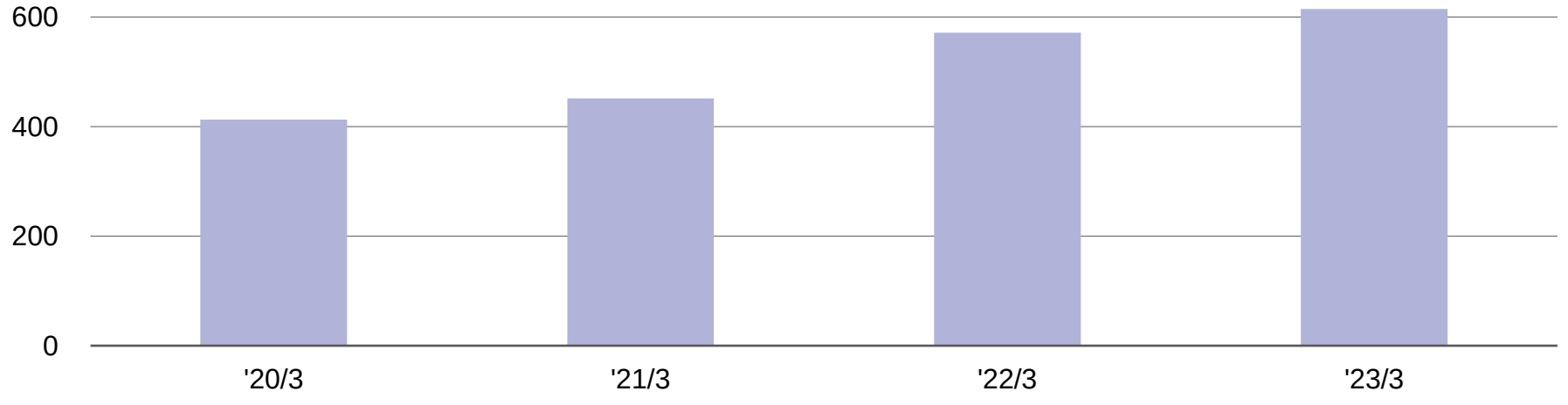
(1) 資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組み、最高品質の資産管理総合サービスを提供してまいります。【原則2】

(2)資産管理に関する情報を幅広く、タイムリーに提供してまいります。【原則6】

- お客さまのグローバルかつ多様な投資ニーズに応えられるよう、新商品・新サービスへの取り組みを進めています。
- 先端技術を駆使した高い事務品質・生産性に加え、様々な環境変化等にも対応した安定したサービス提供に努めてまいります。

資産管理残高（兆円）[25]

信託 MTBJ



（注）25. 年金信託、投資信託等の信託財産残高に加え、カストディ等事務委任を受けている財産の残高を含む

7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供

(1) グループ各社の商品・サービス、ノウハウおよびリソースを結集し、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供することで、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。【原則2】

■ **運用商品のご提供にとどまらず、次世代への資産承継も見据えながら、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供してまいります。**

＜ご参考＞ MUFGグループ総力をあげた、資産承継サポート

■ 円滑な資産承継のために、お客さまの多様なニーズに対し、トータルにお応えします

MUFGのサポート体制

承継に対するお客さまのお考え		お客さまをとりまく環境
経営戦略	資本戦略	市場・相場動向
ライフイベント	運用方針	税制等の諸制度

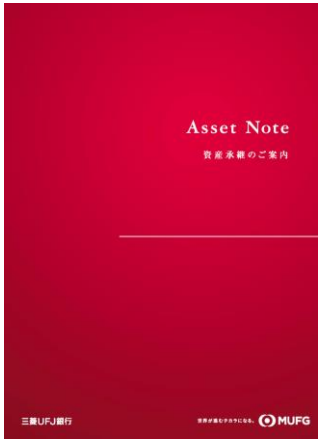
お客さまの資産マネジメントに対する多様なニーズ

グループ総力を挙げたソリューション提供

- 納税資金対策
- 相続財産対策
- 分割方法対策
- 事業承継対策

三菱UFJ銀行

MUFGグループ各社 ……… 提携外部専門家

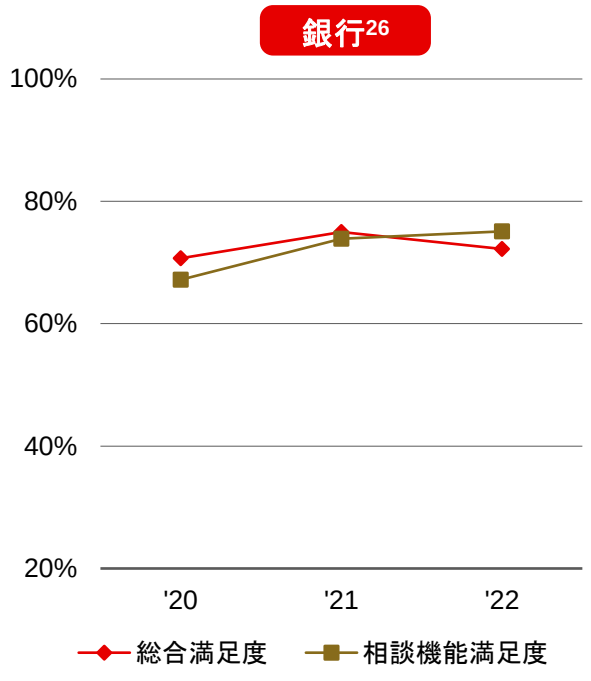


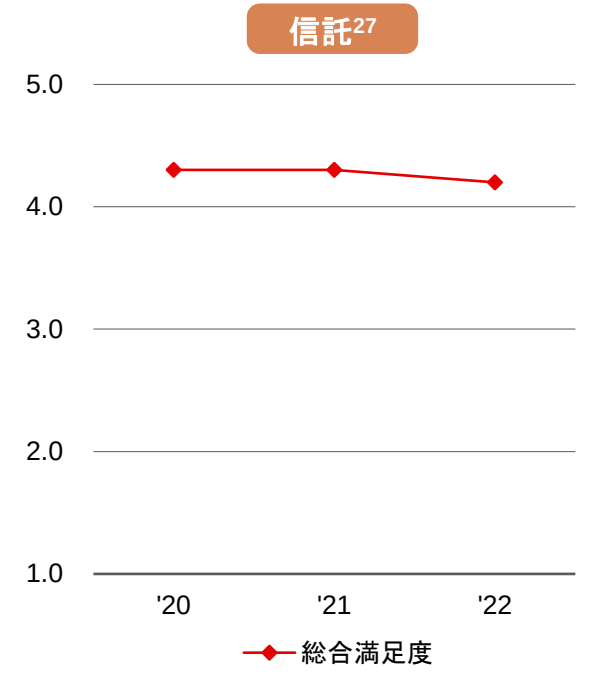
8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

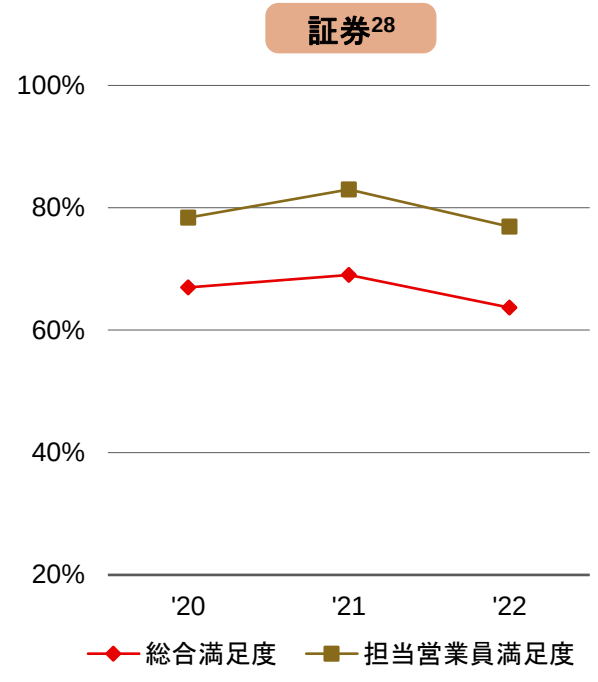
(1) 店頭・コールセンター・インターネット等の多様なチャネル整備とともに、安心・安全にお取引いただける態勢を構築してまいります。【原則6】

■ お客さまの声を起点としたサービス向上を目的に、定期的に満足度調査を実施しております。
お客さまからの声をサービスの更なる改善に反映させてまいります。

満足度調査







（注）26. 調査概要／対象者：無作為に抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：約10,000名／回答数：約2,400名）
総合満足度：　当行との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合
相談機能満足度：　資産運用、ライフプラン、ローンの相談・取引について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合
27. 調査概要／対象者：直近でお取引をいただいたお客さまから抽出した個人のお客さま（郵送方式 送付数：約19,000名／回答数：約8,000名）
満足度：　当社との様々な取引から、お客さまが担当者を総合的に判断した満足度（「満足している」–「不満である」の5段階）の平均値
28. 調査概要／対象者：30歳以上、投資性金融資産残高1,000万円以上の個人のお客さまを対象としたインターネット調査（回答数412件）
総合満足度：　当社との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合
担当営業員満足度：担当営業員の対応について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

9.プロフェッショナリズムの発揮

(1) お客さまと末永い信頼関係を築くため、プロフェッショナル人材の育成および専門性のさらなる向上に継続的に取り組んでまいります。【原則2】

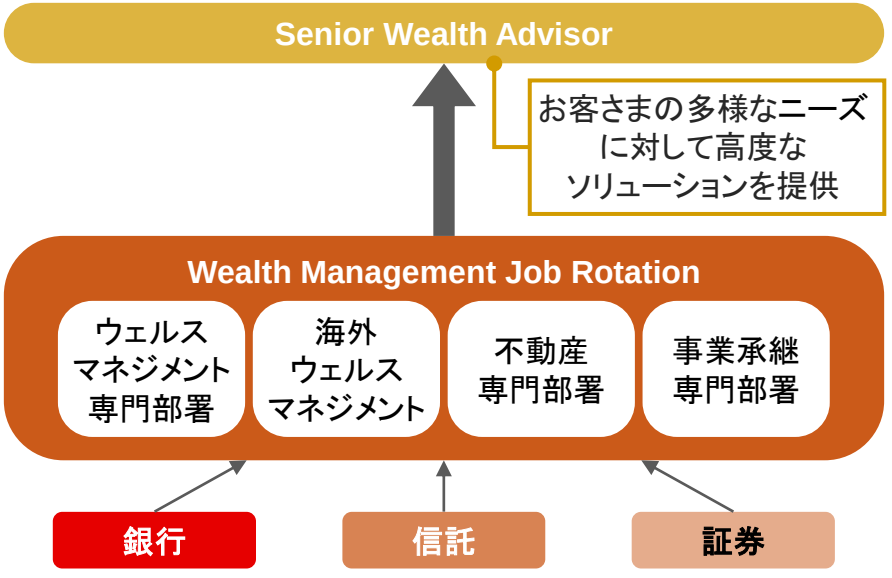
■ 高度化かつ多様化するお客さまのニーズに対応し、お客さまと末永い信頼関係を築くため、高い専門性と人間性をもつ人材の育成に、グループで継続的に取り組んでまいります。

＜ご参考＞人材育成への取組み　　*WM＝ウェルスマネジメント

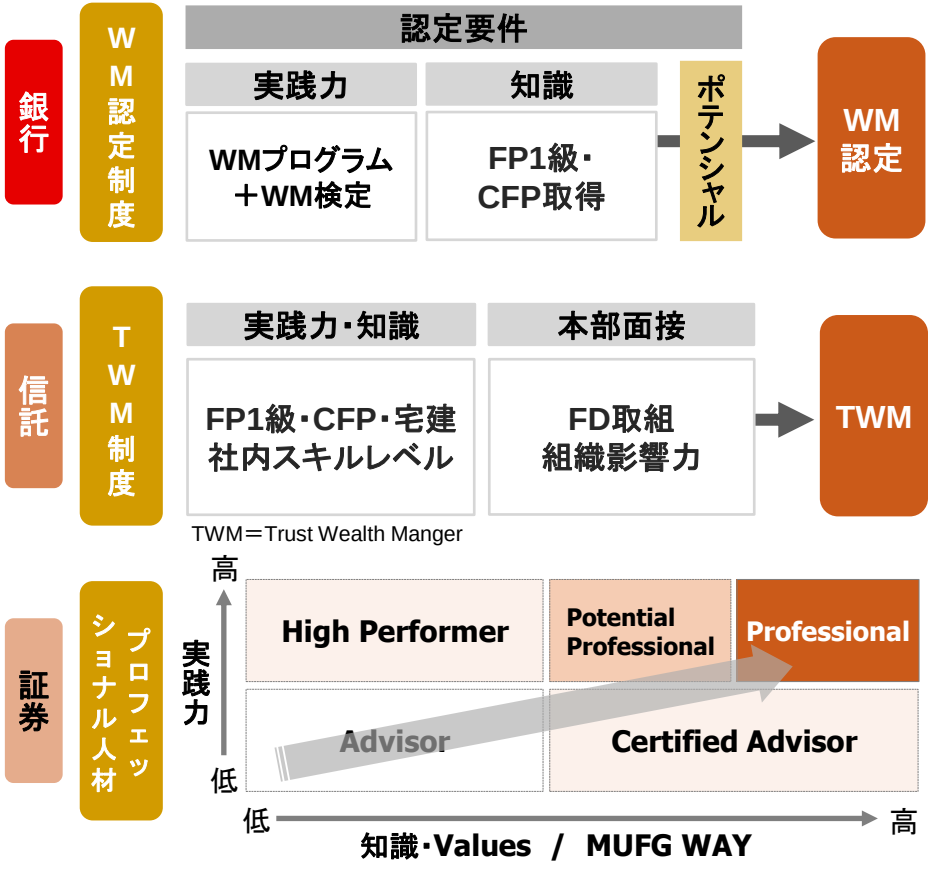
■ WM*領域のプロフェッショナルであるシニアウェルスアドバイザーの育成に向け、グループ横断で専門知識を学ぶ機会を提供するWMジョブローテーションを実施

■ 高度な実践力、知識、人間性を有し、お客さまの多様なニーズに対応できる担当者の育成に向け、グループ各社でWM人材制度を構築

WMジョブローテーションプログラム



各社WM人材制度

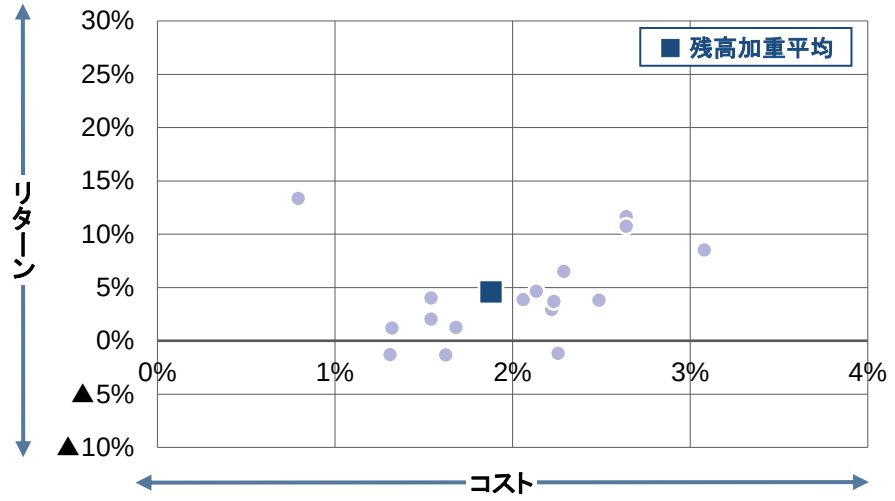


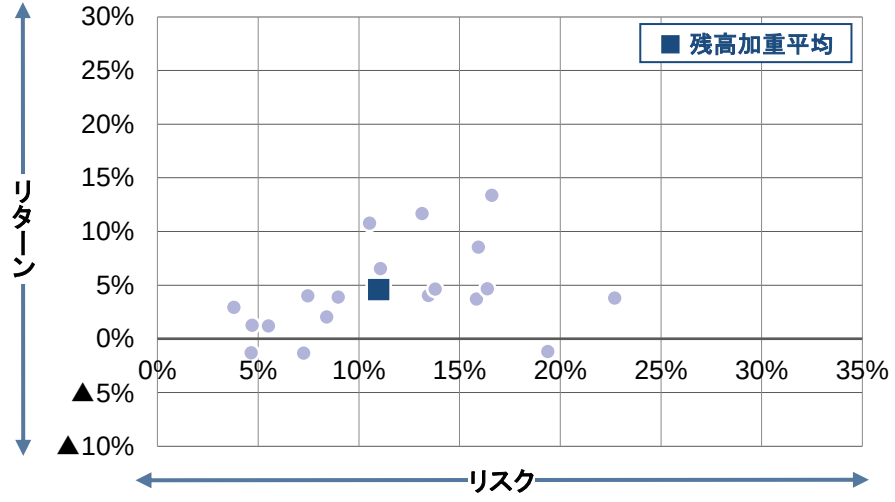
共通KPI

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30]（2021年3月）

銀行





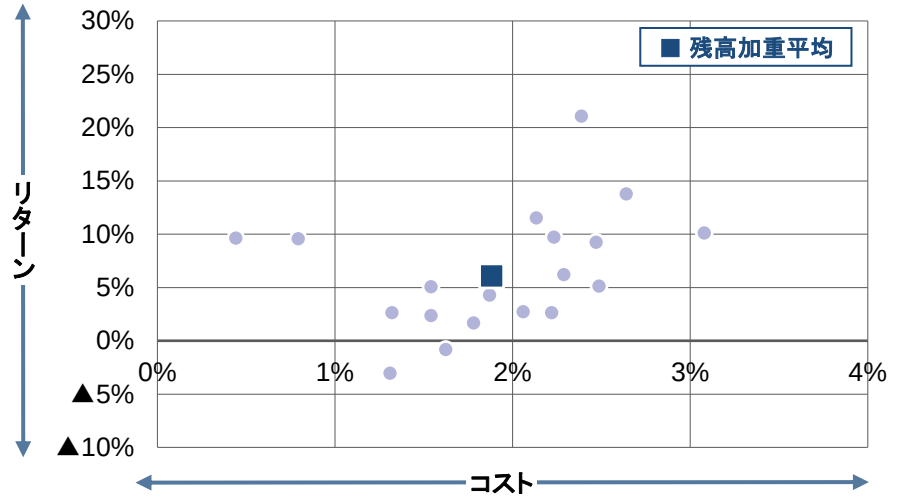
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJ インデックス225オープン	0.79%	16.60%	13.38%
2	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	8.95%	3.90%
3	ピムコ　ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	7.46%	4.01%
4	UBSオーストラリア債券オープン（毎月分配型）	1.54%	8.40%	2.05%
5	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22%	3.79%	2.93%
6	新光US-REITオープン	2.23%	15.83%	3.70%
7	スマート・クオリティ・オープン（安定型）	1.68%	4.69%	1.26%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	11.06%	6.53%
9	ニッセイJ-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	13.45%	4.03%
10	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.49%	22.70%	3.80%
11	三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	1.32%	5.51%	1.20%
12	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト – PIMCO インカム・ファンド　円 – 毎月分配クラス	1.31%	4.65%	▲1.30%
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	15.93%	8.55%
14	JPMベスト・インカム（年1回決算型）	2.06%	8.98%	3.89%
15	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.13%	16.38%	4.65%
16	トレンド・アロケーション・オープン	1.62%	7.25%	▲1.33%
17	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.13%	11.67%
18	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	1.87%	13.78%	4.63%
19	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	19.38%	▲1.18%
20	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）	2.64%	10.53%	10.76%
	残高加重平均（■）	1.88%	11.00%	4.55%

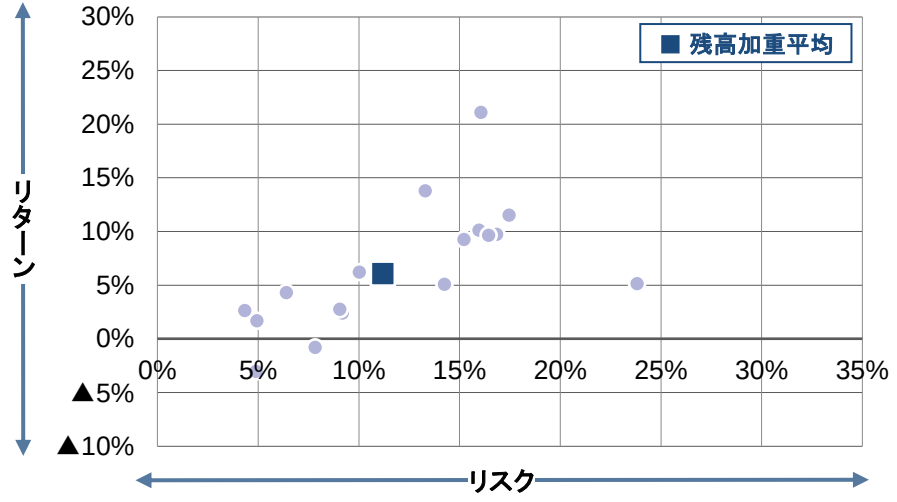
（注）29. 2020年3月、2021年3月または2022年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄
30. コスト：販売手数料／5＋信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30]（2022年3月）

銀行



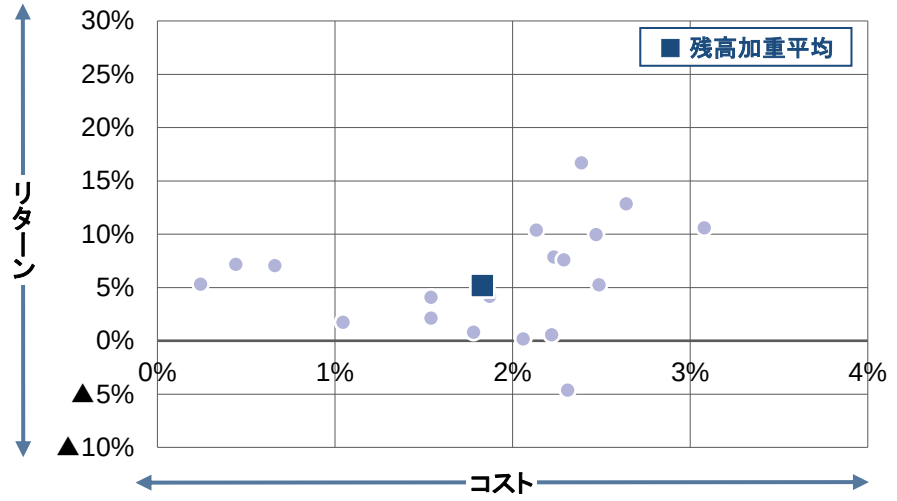


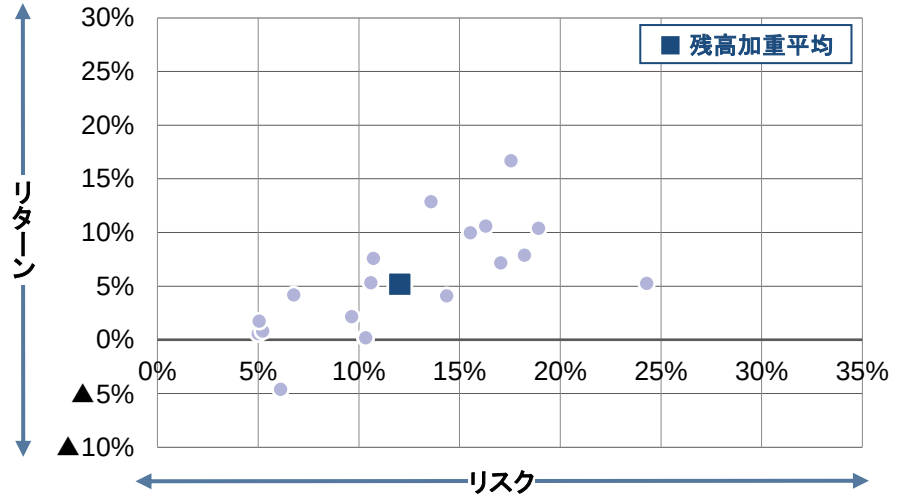
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22%	4.31%	2.64%
2	三菱UFJ インデックス225オープン	0.79%	16.46%	9.59%
3	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	9.03%	2.75%
4	ピムコ　ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	6.40%	4.29%
5	新光US-REITオープン	2.23%	16.83%	9.74%
6	UBSオーストラリア債券オープン（毎月分配型）	1.54%	9.17%	2.38%
7	スマート・クオリティ・オープン（安定型）	1.78%	4.93%	1.68%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.02%	6.22%
9	ニッセイJ-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	14.25%	5.07%
10	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.13%	17.45%	11.53%
11	三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	1.32%	4.33%	2.63%
12	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	16.06%	21.09%
13	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.49%	23.82%	5.13%
14	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	15.96%	10.14%
15	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト － PIMCO インカム・ファンド　円 – 毎月分配クラス	1.31%	4.89%	▲3.04%
16	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム 株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.29%	13.78%
17	JPMベスト・インカム（年1回決算型）	2.06%	9.06%	2.74%
18	トレンド・アロケーション・オープン	1.62%	7.83%	▲0.80%
19	eMAXIS 日経225インデックス	0.44%	16.43%	9.65%
20	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	15.22%	9.25%
	残高加重平均（■）	1.88%	11.21%	6.04%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30,31]（2023年3月）

銀行





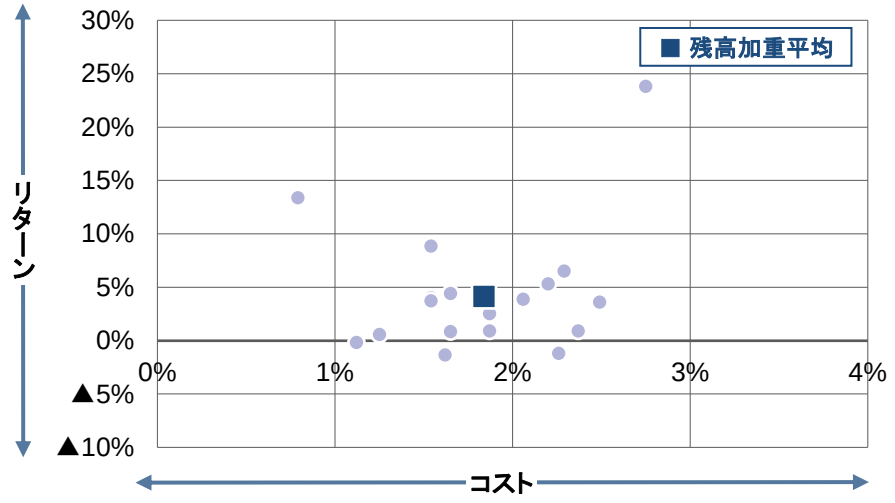
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJ インデックス225オープン	0.66%	17.06%	7.06%
2	ピクテ・マルチアセット（クアトロ）	2.22%	5.00%	0.57%
3	ピムコ　ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	6.77%	4.19%
4	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	10.32%	0.21%
5	スマート・クオリティ・オープン（安定型）（愛称：スマラップ）	1.78%	5.23%	0.82%
6	UBSオーストラリア債券オープン（毎月分配型）	1.54%	9.64%	2.14%
7	新光US－REITオープン（愛称：ゼウス）	2.23%	18.22%	7.87%
8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.59%	12.85%
9	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.72%	7.59%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	17.56%	16.69%
11	ニッセイJ－REITファンド（毎月決算型）	1.54%	14.35%	4.08%
12	三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	1.05%	5.05%	1.74%
13	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.13%	18.92%	10.40%
14	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト−PIMCOインカム・ファンド 円−毎月分配クラス	2.31%	6.11%	▲4.61%
15	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（愛称：健次）	3.08%	16.30%	10.59%
16	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	15.54%	9.97%
17	JPMベスト・インカム（年1回決算型）	2.06%	10.34%	0.19%
18	つみたて8資産均等バランス	0.24%	10.59%	5.32%
19	フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.49%	24.29%	5.27%
20	eMAXIS 日経225インデックス	0.44%	17.05%	7.17%
	残高加重平均（■）	1.83%	12.05%	5.16%

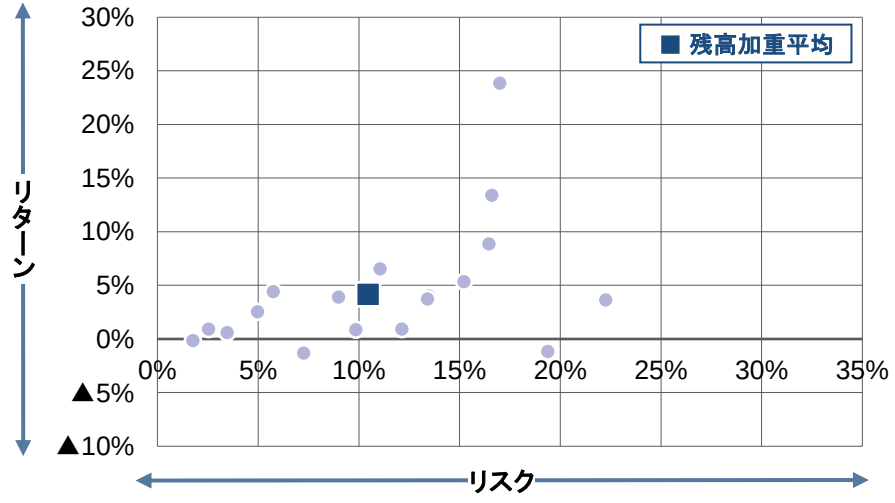
（注）31. 2023年3月基準より、窓販投信と金融商品仲介の預かり残高の合計に変更（旧三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券への紹介顧客における預かり残高を除く）

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30,32]（2021年3月）

信託





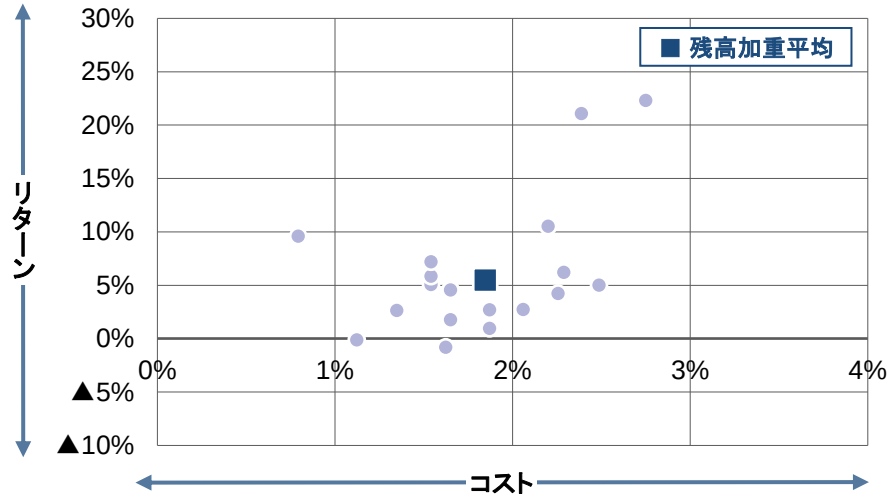
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）	1.65%	5.74%	4.41%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	11.06%	6.53%
3	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	9.84%	0.86%
4	ニッセイJ-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	13.45%	4.03%
5	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	19.38%	▲1.18%
6	三菱UFJ Jリートオープン（3ヵ月決算型）	1.54%	13.40%	3.73%
7	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49%	22.25%	3.63%
8	トレンド・アロケーション・オープン	1.62%	7.25%	▲1.33%
9	優良日本株ファンド	1.54%	16.46%	8.86%
10	三菱UFJ バランス・イノベーション（株式抑制型）	1.87%	2.54%	0.91%
11	三菱UFJ バランス・イノベーション（株式重視型）	1.87%	4.97%	2.54%
12	GS エマージング通貨債券ファンド	2.37%	12.13%	0.93%
13	東京海上・円建て投資適格債券ファンド（毎月決算型）	1.12%	1.76%	▲0.17%
14	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	8.95%	3.90%
15	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	15.21%	5.32%
16	三菱UFJ インデックス225オープン	0.79%	16.60%	13.38%
17	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）	1.65%	5.74%	4.42%
18	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25%	3.46%	0.59%
19	netWIN GSテクノロジー株式ファンド　Bコース	2.75%	17.00%	23.83%
20	JPMベスト・インカム（年1回決算型）	2.06%	8.98%	3.89%
	残高加重平均（■）	1.84%	10.47%	4.12%
	【ご参考】MUFGファンドラップ（安定収益追求コース）	1.26%	2.47%	0.76%

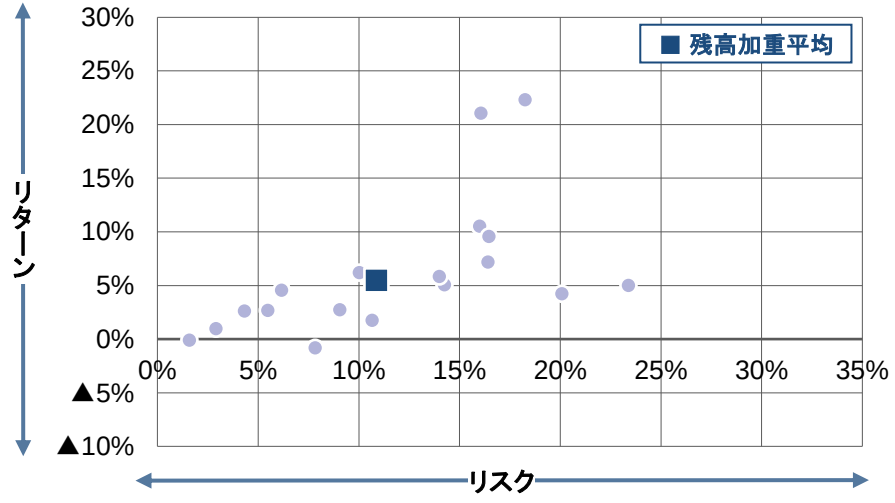
（注）32. 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品（MUFGファンドラップ）を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は契約者数が最も多い「安定収益追求コース*」とする。
*安定収益追求コースは2022年6月より「下方リスク抑制コース」へ名称を変更 「金融庁 比較可能な共通なKPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出
①リスク、リターン：モデルポートフォリオの数値を使用（実際の運用実績とは異なる）。信託報酬および以下②コストを控除
②コスト：　投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30,32]（2022年3月）

信託



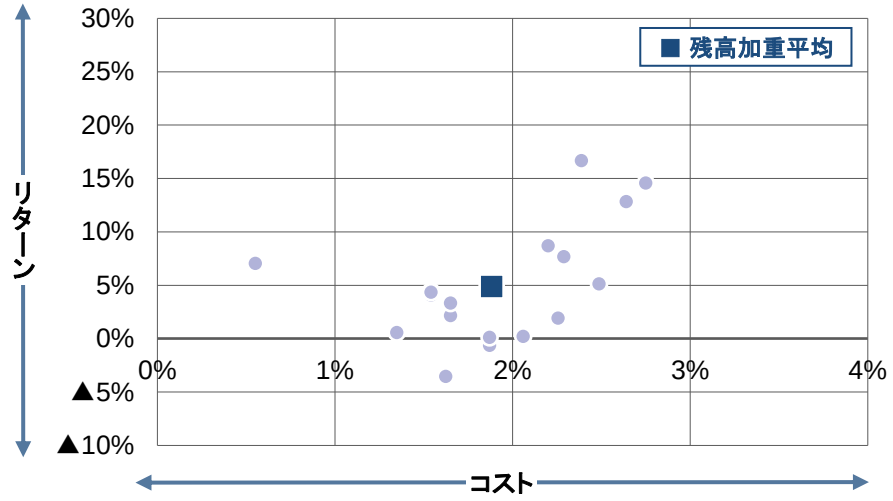


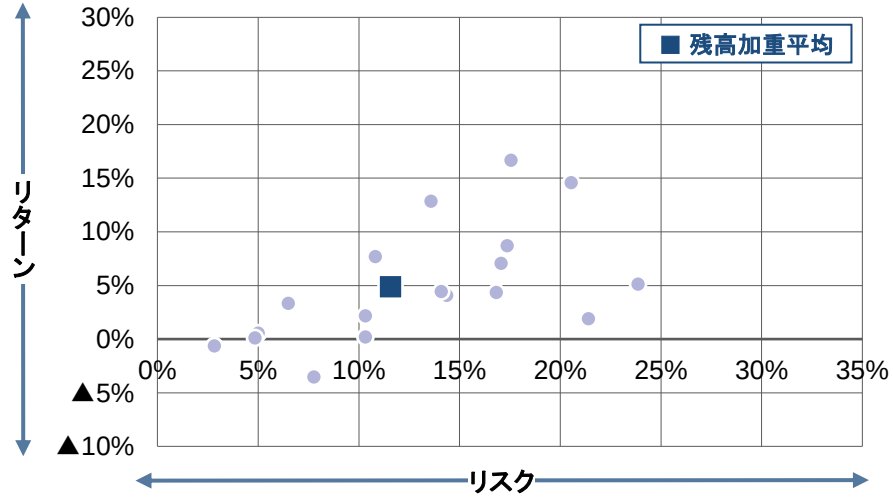
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）	1.65%	6.17%	4.55%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.02%	6.22%
3	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	10.66%	1.77%
4	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	20.07%	4.24%
5	ニッセイ J- REITファンド（毎月決算型）	1.54%	14.25%	5.07%
6	三菱UFJ Jリートオープン（3ヵ月決算型）	1.54%	13.99%	5.84%
7	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49%	23.38%	5.02%
8	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	1.35%	4.31%	2.64%
9	トレンド・アロケーション・オープン	1.62%	7.83%	▲0.80%
10	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	15.99%	10.53%
11	三菱UFJ インデックス225オープン	0.79%	16.46%	9.59%
12	三菱UFJ バランス・イノベーション（株式抑制型）	1.87%	2.90%	0.97%
13	優良日本株ファンド（ちから株）	1.54%	16.40%	7.21%
14	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	9.03%	2.75%
15	三菱UFJ バランス・イノベーション（株式重視型）	1.87%	5.47%	2.69%
16	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）	1.65%	6.17%	4.56%
17	netWIN GSテクノロジー株式ファンド　Bコース	2.75%	18.24%	22.31%
18	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	16.06%	21.09%
19	東京海上・円建て投資適格債券ファンド（毎月決算型）	1.12%	1.59%	▲0.10%
20	JPMベスト・インカム（年1回決算型）	2.06%	9.06%	2.74%
	残高加重平均（■）	1.85%	10.88%	5.45%
	【ご参考】MUFGファンドラップ（安定収益追求コース）	1.26%	2.69%	0.18%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30,33]（2023年3月）

信託





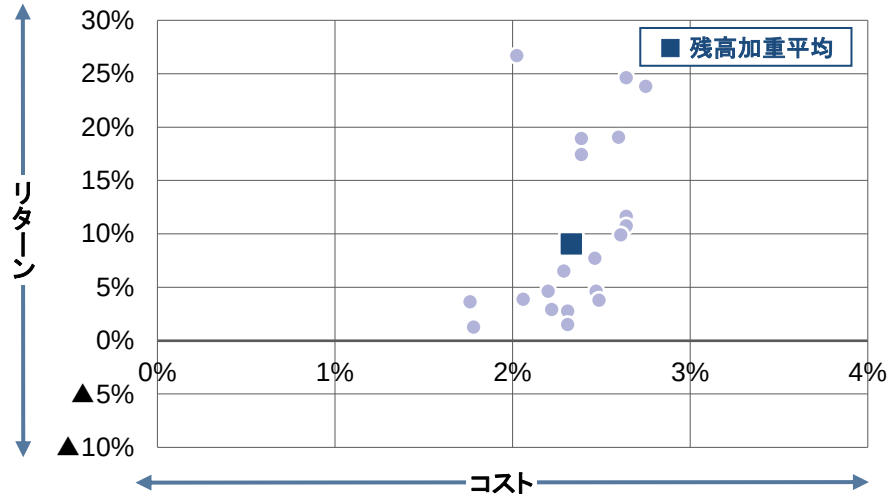
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）（花こよみ）累投	1.65%	6.50%	3.34%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド累投	2.29%	10.72%	7.59%
3	豪ドル毎月分配型ファンド累投	1.65%	10.32%	2.18%
4	ニッセイ Jーリートファンド(毎月決算型)累投	1.54%	14.35%	4.08%
5	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）累投	2.26%	21.39%	1.92%
6	三菱UFJ Jリートオープン（3ヵ月決算型）累投	1.54%	14.10%	4.43%
7	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(クアトロ)累投	1.35%	5.00%	0.57%
8	優良日本株ファンド（ちから株）累投	1.54%	16.82%	4.35%
9	三菱UFJ インデックス225オープン累投	0.55%	17.06%	7.06%
10	三菱UFJバランス・イノベーション(株式抑制型)累投	1.87%	2.82%	▲0.63%
11	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D（ヘッジなし・予想分配）累投	2.39%	17.56%	16.69%
12	トレンド・アロケーション・オープン累投	1.62%	7.76%	▲3.52%
13	三菱UFJバランス・イノベーション（株式重視型）累投	1.87%	4.84%	0.12%
14	ニッセイ「豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）累投	2.49%	23.86%	5.14%
15	三菱ＵＦＪグローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）累投	1.65%	6.50%	3.33%
16	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）累投	2.20%	17.35%	8.71%
17	netWINGSテクノロジー株式ファンドB（ヘッジなし）累投	2.75%	20.53%	14.60%
18	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)累投	2.29%	10.81%	7.69%
19	JPMベスト・インカム（毎月決算型）累投	2.06%	10.32%	0.21%
20	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ﾍｯｼﾞなし）累投	2.64%	13.59%	12.85%
	残高加重平均（■）	1.88%	11.58%	4.85%
	①【ご参考】MUFGファンドラップ（リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし）	1.25%	6.85%	2.54%
	②【ご参考】MUFGファンドラップ（下方リスク抑制コース）	1.25%	3.08%	▲1.92%

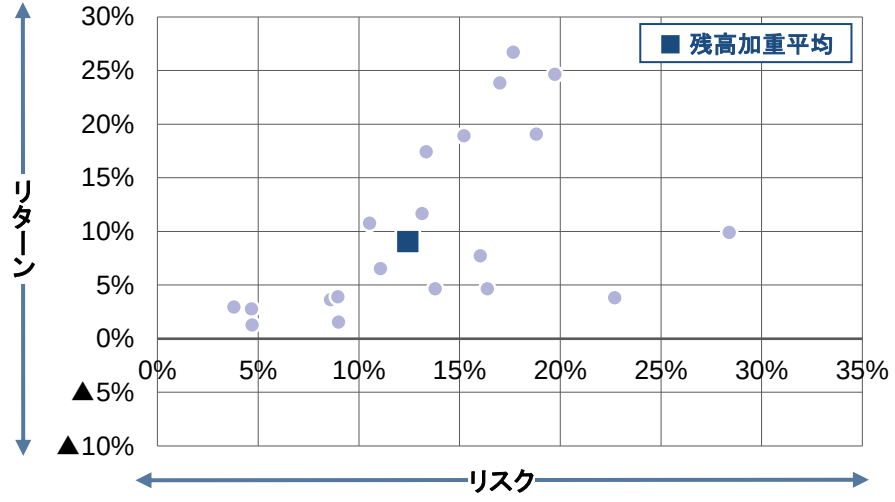
（注）33. 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品（MUFGファンドラップ）を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は「下方リスク抑制コース*」と、「リスク分散コース」は契約者数が最も多い「成長型ヘッジファンドなし」とする
*安定収益追求コースは2022年6月より「下方リスク抑制コース」へ名称を変更。「金融庁比較可能な共通なKPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出
①リスク、リターン：モデルポートフォリオの数値を使用（実際の運用実績とは異なる）。信託報酬および以下②コストを控除
②コスト：　投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30]（2021年3月）

証券



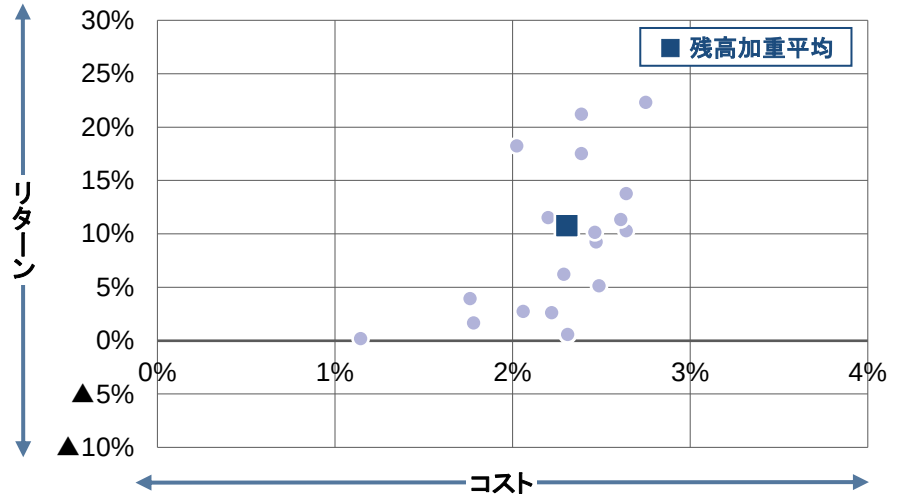


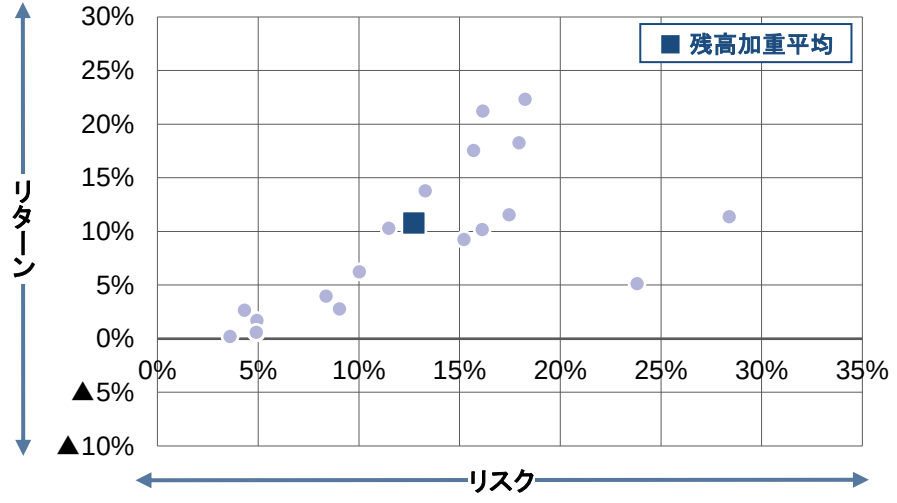
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト – PIMCO インカム・ファンド 円 – 毎月分配クラス	2.31%	4.67%	2.76%
2	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.13%	11.67%
3	スマート・クオリティ・オープン（安定型）	1.78%	4.69%	1.26%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	15.21%	18.93%
5	三菱UFJ／AMP グローバル・インフラ債券ファンド ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	1.76%	8.59%	3.64%
6	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	13.78%	4.63%
7	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.49%	22.70%	3.80%
8	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22%	3.79%	2.93%
9	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）	2.64%	10.53%	10.76%
10	JPM ベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	8.95%	3.90%
11	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 毎月決算型（為替ヘッジあり）予想分配金提示型	2.39%	13.34%	17.43%
12	JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン （毎月決算型 ）	2.46%	16.03%	7.73%
13	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース （為替ヘッジなし）	2.75%	17.00%	23.83%
14	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.20%	16.38%	4.65%
15	ウエスタン・アセット・オフショア・ファンド・シリーズ – WAトータルリターン・オポチュニティーズ 円（毎月）クラス	2.31%	8.99%	1.53%
16	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	28.38%	9.91%
17	グローバル・スマート・イノベーション・オープン （年2回決算型）	2.64%	19.73%	24.64%
18	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	11.06%	6.53%
19	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.02%	17.66%	26.71%
20	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60%	18.81%	19.06%
	残高加重平均（■）	2.33%	12.44%	9.02%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30]（2022年3月）

証券



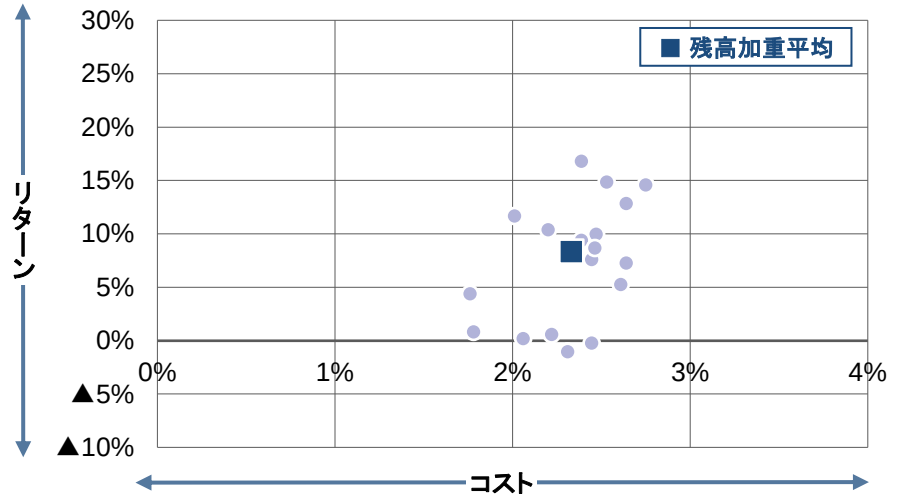


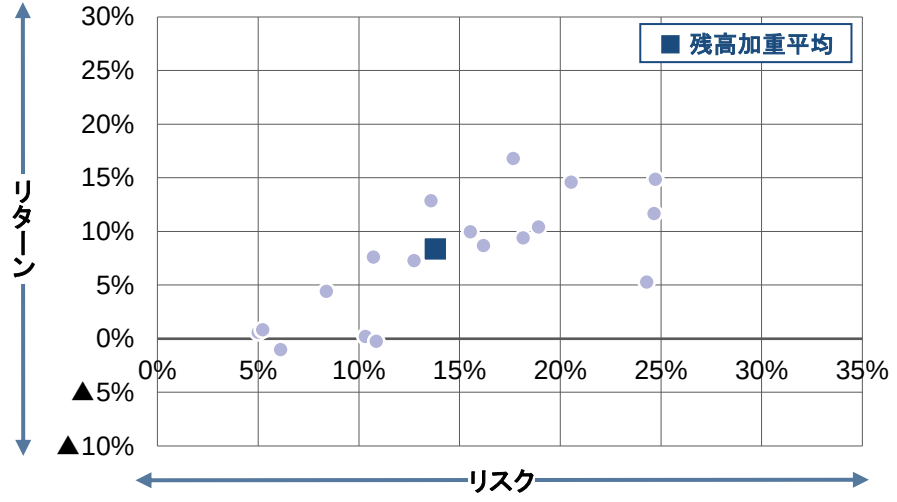
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	16.06%	21.09%
2	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム 株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.29%	13.78%
3	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22%	4.31%	2.64%
4	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト−PIMCO インカム・ファンド 円−毎月分配クラス	2.31%	4.90%	0.54%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 毎月決算型（為替ヘッジあり）予想分配金提示型	2.39%	15.69%	17.53%
6	三菱UFJ／AMP グローバル・インフラ債券ファンド ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	1.76%	8.36%	3.95%
7	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式 オープン（為替ヘッジあり）	2.64%	11.48%	10.29%
8	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	15.22%	9.25%
9	スマート・クオリティ・オープン（安定型）	1.78%	4.93%	1.68%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース （為替ヘッジなし）	2.39%	16.15%	21.21%
11	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.20%	17.45%	11.53%
12	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.49%	23.82%	5.13%
13	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	9.03%	2.75%
14	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース （為替ヘッジなし）	2.75%	18.24%	22.31%
15	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト−PIMCO インカム・ファンド 円−年1回分配クラス	2.31%	4.90%	0.59%
16	JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン （毎月決算型）	2.46%	16.12%	10.17%
17	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	28.38%	11.36%
18	東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン	2.02%	17.94%	18.26%
19	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	1.14%	3.60%	0.21%
20	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.29%	10.02%	6.22%
	残高加重平均（■）	2.31%	12.75%	10.75%

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄[29]のコスト／リスク・リターン[30]（2023年3月）

証券





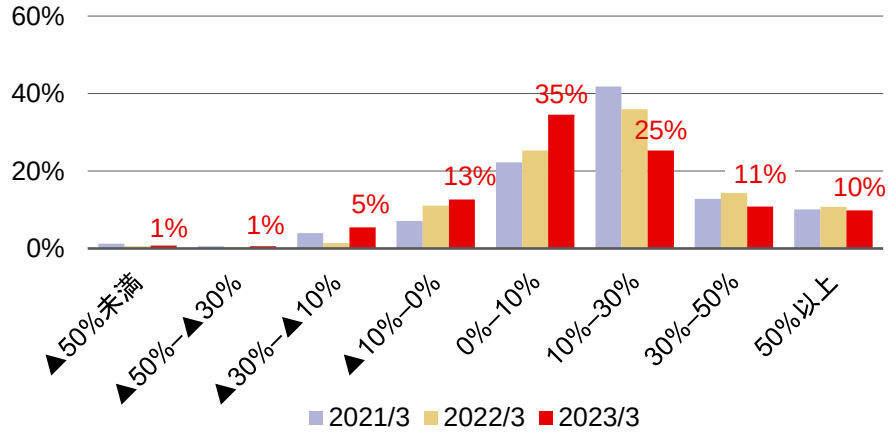
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2.39%	17.56%	16.69%
2	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.59%	12.85%
3	三菱UFJ／AMP グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	1.76%	8.38%	4.40%
4	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト−PIMCO インカム・ファンド 円−毎月分配クラス	2.31%	6.11%	▲1.04%
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	15.54%	9.97%
6	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22%	5.00%	0.57%
7	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジあり）	2.64%	12.73%	7.27%
8	スマート・クオリティ・オープン（安定型）	1.78%	5.23%	0.82%
9	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	2.39%	17.66%	16.79%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 毎月決算型（為替ヘッジあり）予想分配金提示型	2.39%	18.16%	9.40%
11	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.20%	18.92%	10.40%
12	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト−PIMCO インカム・ファンド 円−年1回分配クラス	2.31%	6.12%	▲1.04%
13	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.01%	24.66%	11.67%
14	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	10.32%	0.21%
15	グローバルCoCo債ファンド　円ヘッジコース	2.45%	10.87%	▲0.24%
16	フランクリン・テンプルトン・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	2.61%	24.29%	5.27%
17	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.72%	14.87%
18	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.45%	10.72%	7.59%
19	JPX日経400アクティブ・プレミアム・オープン（毎月決算型）	2.46%	16.18%	8.68%
20	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	20.53%	14.60%
	残高加重平均（■）	2.33%	13.82%	8.32%

MUFG

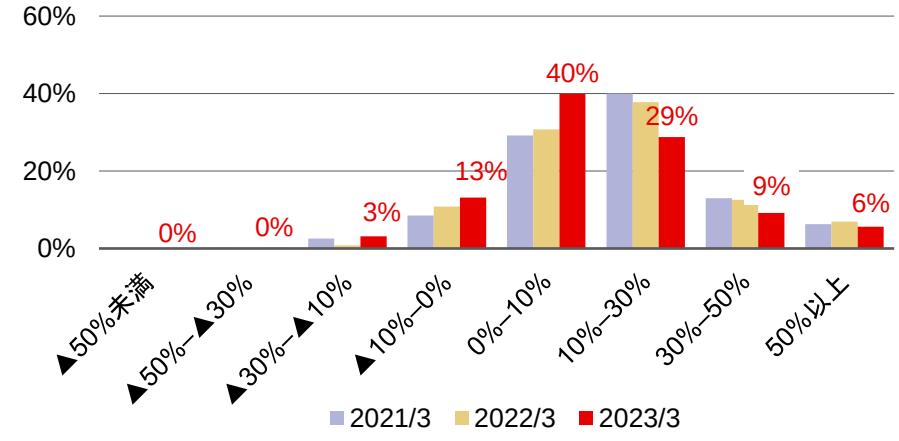
共通KPI

- 投資信託・ファンドラップをご購入いただいたお客さまの運用損益状況をお示ししております。
- なお、MUFGでは、よりお客さまの実感に近い内容でお伝えすることを目的に、金融庁公表の定義に加え、過去の全部売却や償還により実現した損益を勘案した結果を合わせて公表しています。

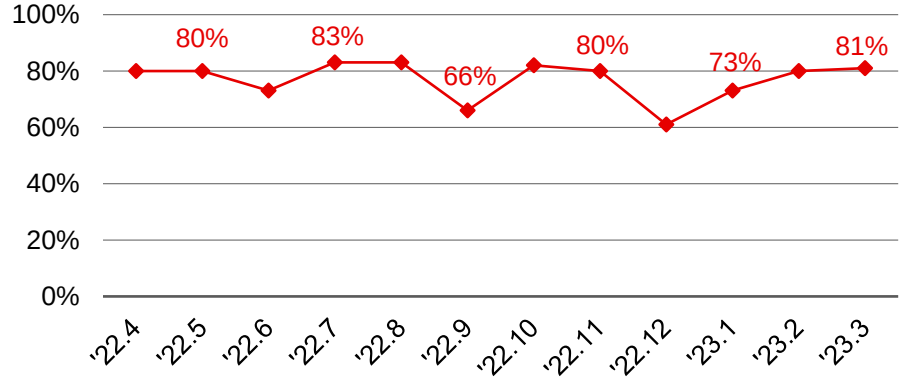
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率　銀行[34]



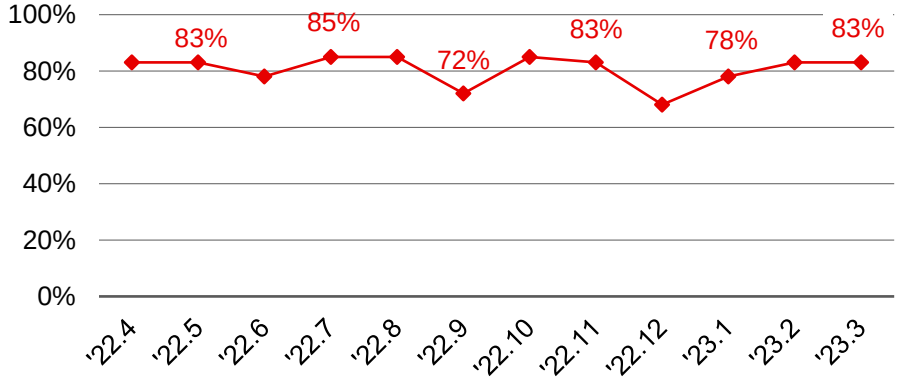
実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率　銀行[35]



【2022年度の運用損益プラス顧客比率の状況】（実現損益を含まず）



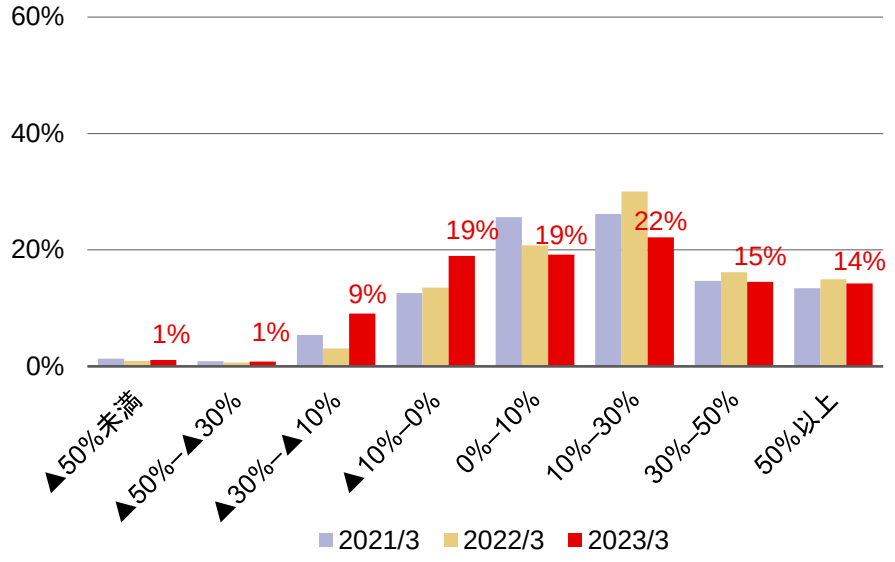
（実現損益を含む）



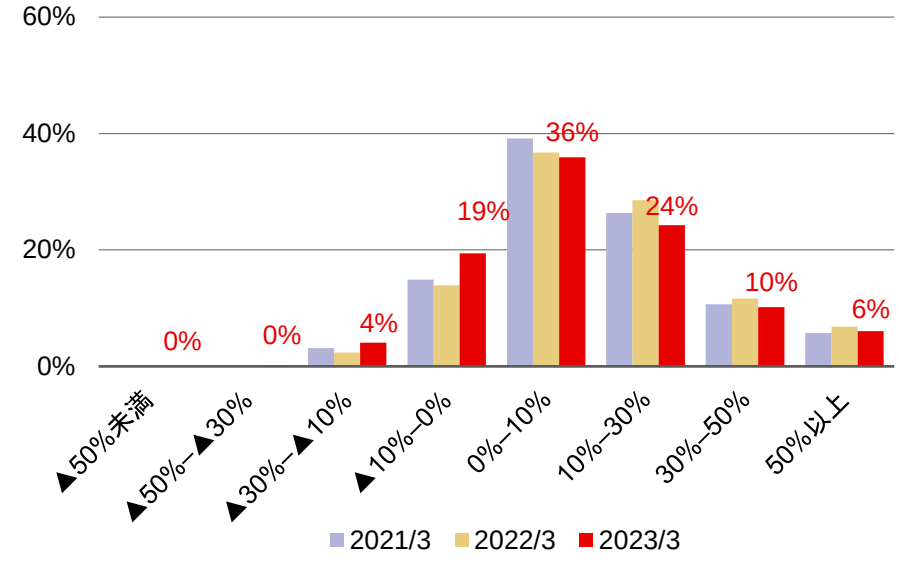
（注）34. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の投資信託が対象
35. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。窓販投信は2014年12月以降、金融商品仲介は2017年1月以降に売却または償還となった実現損益が対象

共通KPI

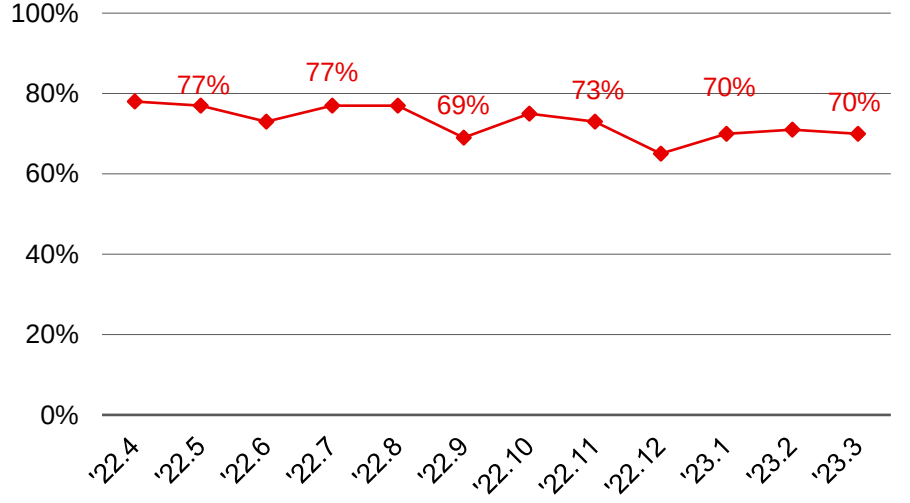
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率　信託[34]



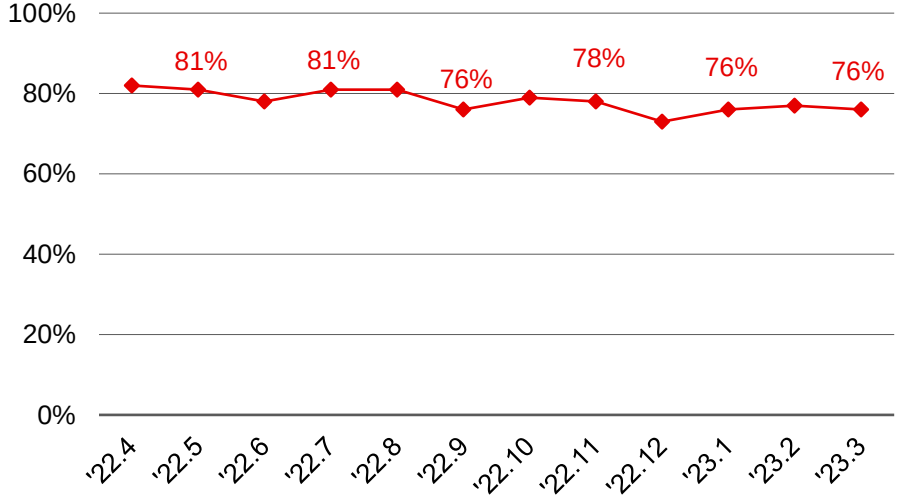
実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率　信託[36]



【2022年度の運用損益プラス顧客比率の状況】（実現損益を含まず）



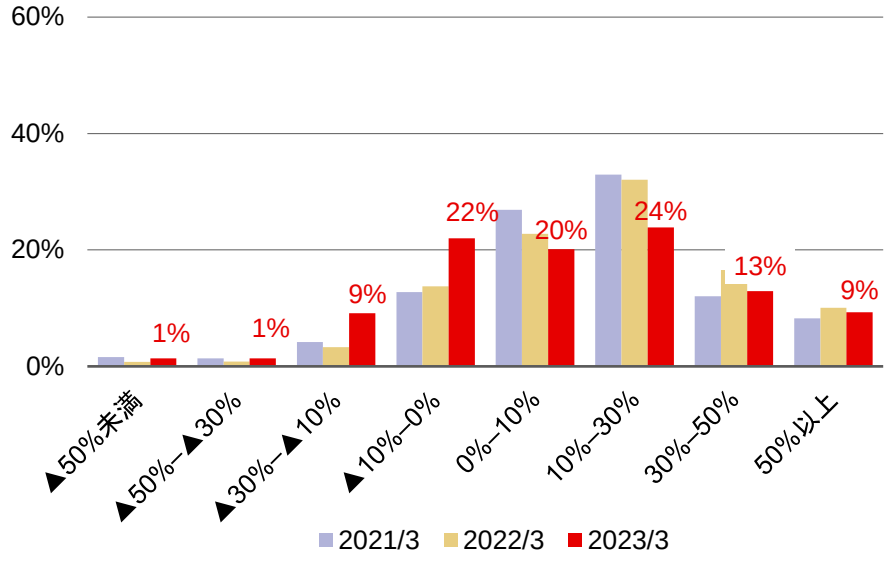
（実現損益を含む）



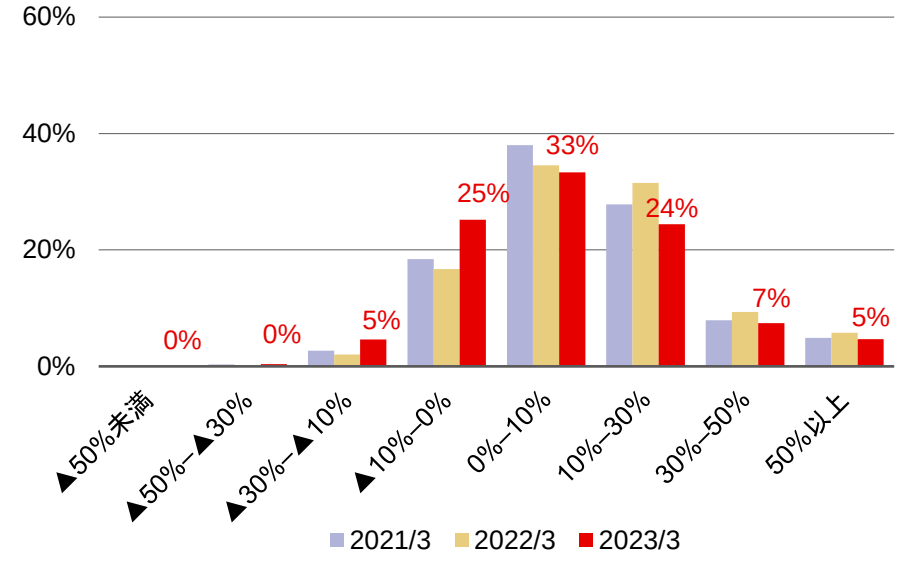
（注）36. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2006年6月以降に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

共通KPI

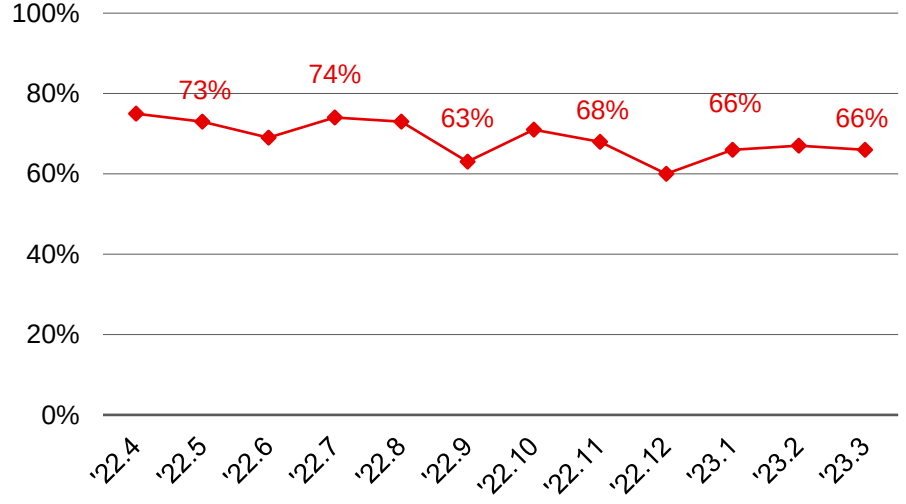
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率　証券[34]



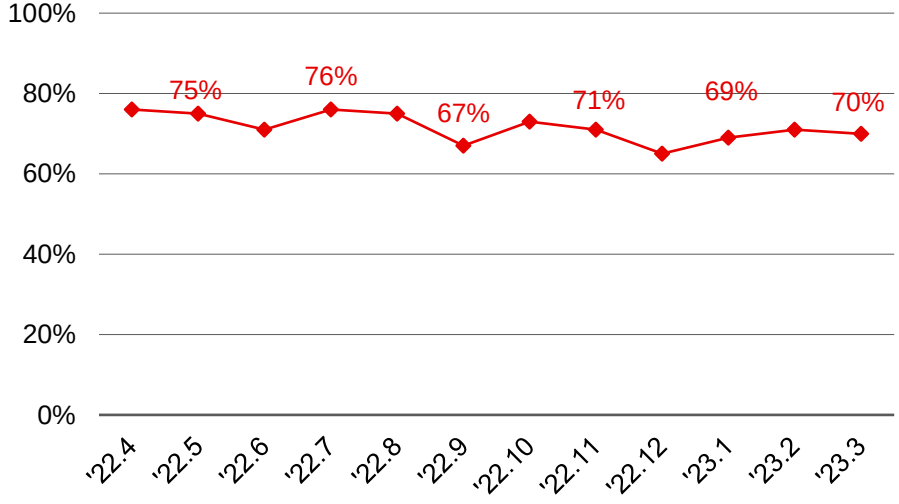
実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率　証券[37]



【2022年度の運用損益プラス顧客比率の状況】（実現損益を含まず）



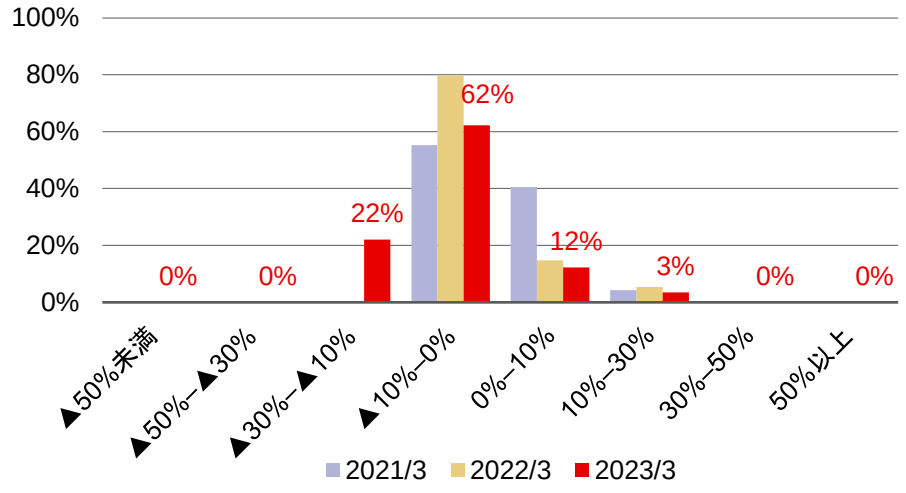
（実現損益を含む）



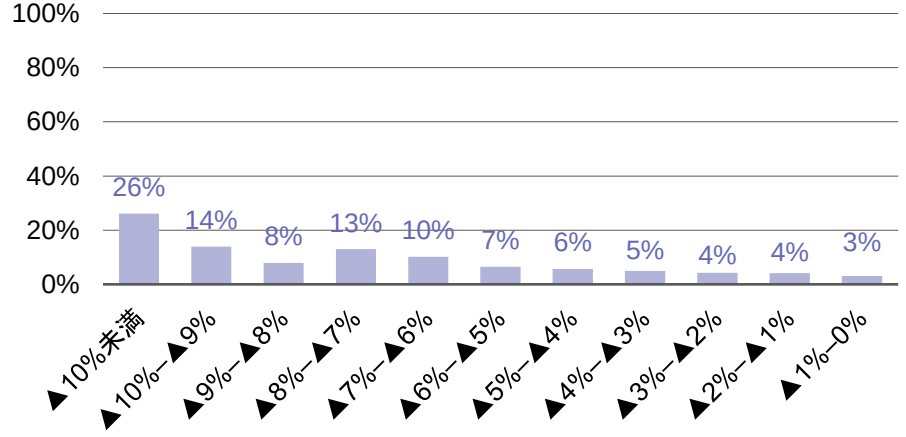
（注）37. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2014年12月以降（PB証券は2014年1月以降）に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

共通KPI

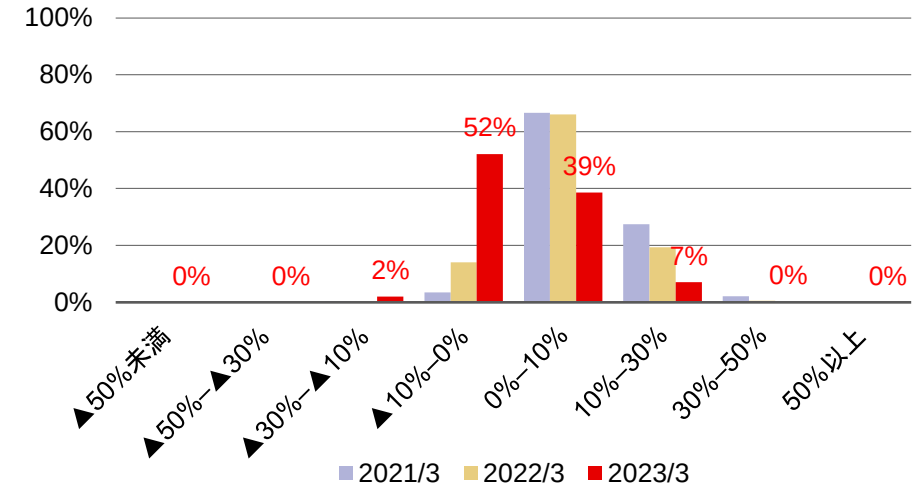
【共通KPI】ファンドラップ運用損益別顧客比率[38]　信託



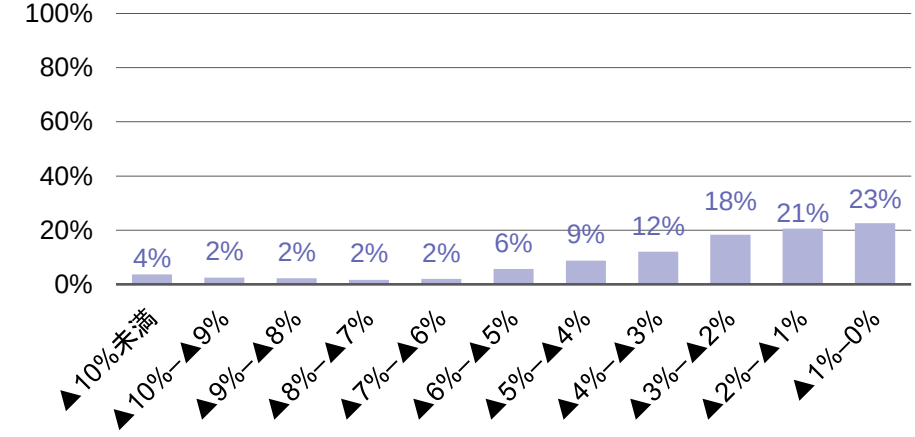
【2023年3月末時点で運用損益がマイナスとなったお客さまの分布状況】



【共通KPI】ラップサービス運用損益別顧客比率[39]　証券



【2023年3月末時点で運用損益がマイナスとなったお客さまの分布状況】



（注）38. ①MUFGファンドラップトータルリターン
【計算式】(1) 月次収益率＝(1＋r1)(1＋r2)…(1＋rn)－1 ※r1～rn：各日次収益率
(2) 上記(1)を運用期間の月数分乗算
期間の収益率(1＋R1)(1＋R2)…(1＋RN)－1 ※R1～RN：各月次収益率
②資産運用口座トータルリターン
【計算式】基準日時価評価金額÷投資元本 ※投資元本：一部出金、追加増額を考慮
39. 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「基準日時価評価金額」。分子は、「基準日時価評価金額+累計払戻金額-累計払込金額」

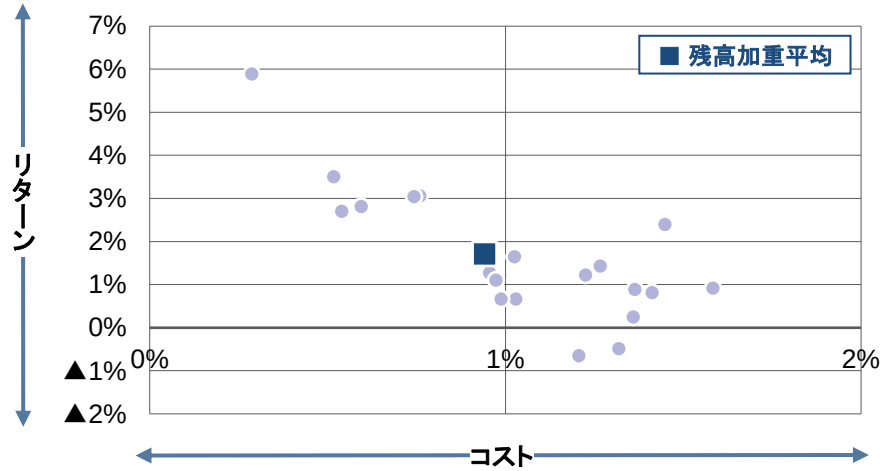
共通KPI（外貨建保険）

■ 外貨建一時払保険の残高上位20銘柄のコスト対するリターン、運用評価別顧客比率をお示ししております。

なお、保険は投資信託とは異なり保障機能を有するものの、上記の指標には同機能が反映されていないため、上記の指標のみをもって投資信託と単純に比較することは必ずしも適切ではないことに留意が必要です。また、外貨建保険の銘柄別コスト・リターンについては、投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンと、定義とするコストの概念が異なることから、投資信託とコスト同士で比較することは適切でないことにも留意が必要

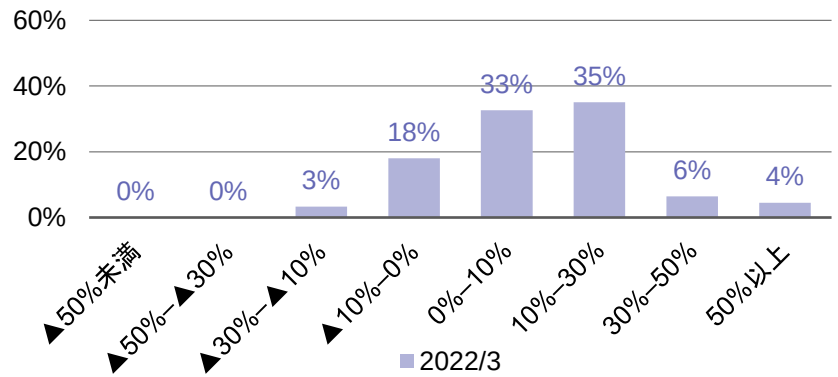
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄[40]のコスト・リターン[41]（2022年3月）

銀行



	銘柄名	コスト	リターン
1	新・フォーライフカレンシーNext	0.96%	1.28%
2	新・フォーライフカレンシー	0.76%	3.06%
3	未来につなげる終身保険	1.23%	1.23%
4	ハイ・ファイブNext＜米ドル建＞	0.52%	3.51%
5	フォーライフカレンシーNeo	0.59%	2.81%
6	ディアマイファミリー	0.74%	3.04%
7	豪ドルターゲットプラス	1.03%	0.67%
8	豪ドルターゲットプラス2	1.32%	▲0.49%
9	生涯プレミアムワールド3	0.99%	0.67%
10	プライムターゲット（外貨）	1.27%	1.43%
11	米ドルターゲットプラス	0.97%	1.10%
12	米ドルターゲットプラス2	1.21%	▲0.65%
13	豪ドルターゲットプラス3	1.36%	0.25%
14	ロングドリームGOLD	1.03%	1.65%
15	未来を楽しむ終身保険	1.58%	0.92%
16	プライムターゲット2（外貨）	1.41%	0.81%
17	ディア　マイ　ファミリーⅡ	1.45%	2.40%
18	米ドルターゲットプラス3	1.36%	0.89%
19	ハイ・カレンシーNeo	0.54%	2.70%
20	生涯プレミアム	0.29%	5.89%
	残高加重平均（■）	0.94%	1.70%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率[42]

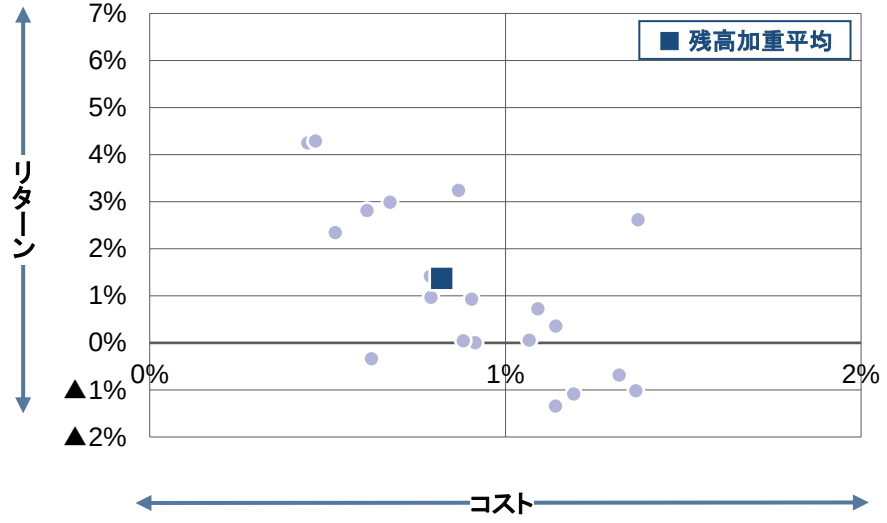


（注）40. 2022年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄
41. コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算
※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算
42. 2022年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI（外貨建保険）

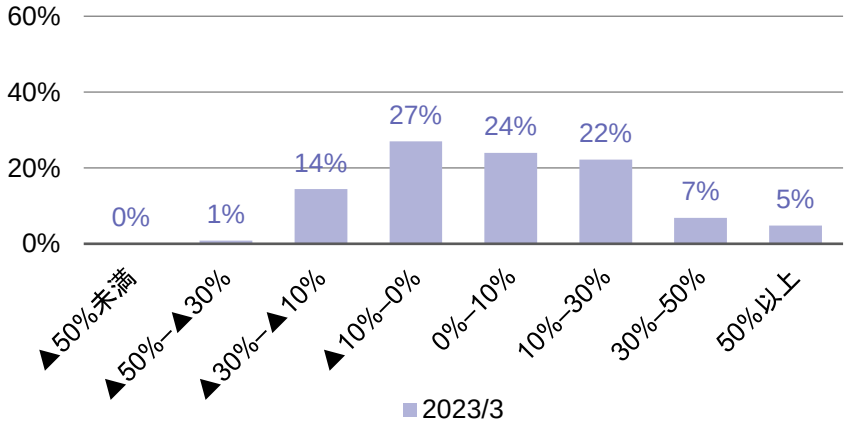
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄[43]のコスト・リターン[41]（2023年3月）

銀行



	銘柄名	コスト	リターン
1	新・フォーライフカレンシーNext	0.79%	0.96%
2	未来につなげる終身保険	1.14%	0.35%
3	新・フォーライフカレンシー	0.61%	2.81%
4	ハイ・ファイブNext＜米ドル建＞	0.44%	4.24%
5	ディア マイ ファミリー	0.68%	2.98%
6	フォーライフカレンシーNeo	0.52%	2.34%
7	豪ドルターゲットプラス	0.91%	▲0.01%
8	生涯プレミアムワールド4	0.90%	0.92%
9	豪ドルターゲットプラス2	1.14%	▲1.35%
10	生涯プレミアムワールド3	0.88%	0.04%
11	プライムターゲット（外貨）	1.09%	0.72%
12	My年金Best外貨	0.47%	4.28%
13	ディア マイ ファミリーⅡ	1.19%	▲1.09%
14	未来を楽しむ終身保険	1.32%	▲0.69%
15	米ドルターゲットプラス2	1.07%	0.05%
16	豪ドルターゲットプラス3	1.37%	▲1.02%
17	米ドルターゲットプラス	0.87%	3.24%
18	ロングドリームGOLD	0.79%	1.41%
19	外貨建・エブリバディプラス	1.37%	2.61%
20	プライムターゲット2（外貨）	0.62%	▲0.34%
	残高加重平均（■）	0.82%	1.36%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率[44]

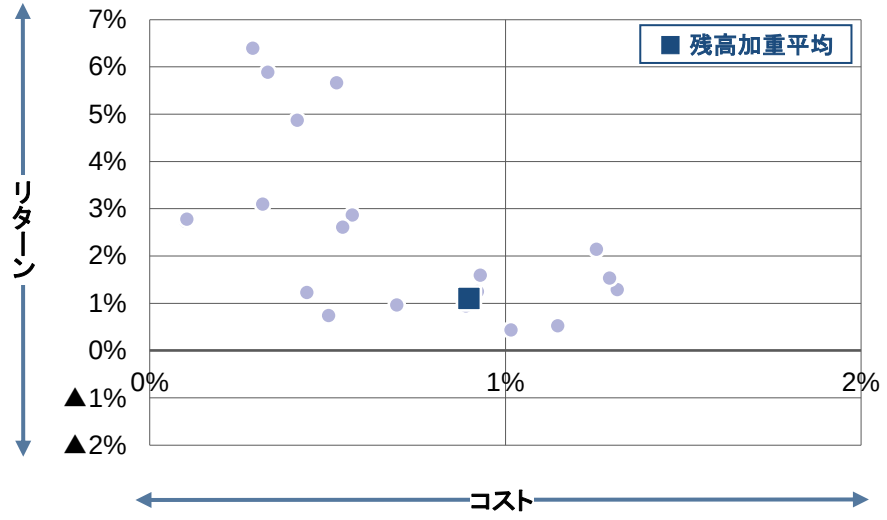


（注）43. 2023年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄
44. 2023年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI（外貨建保険）

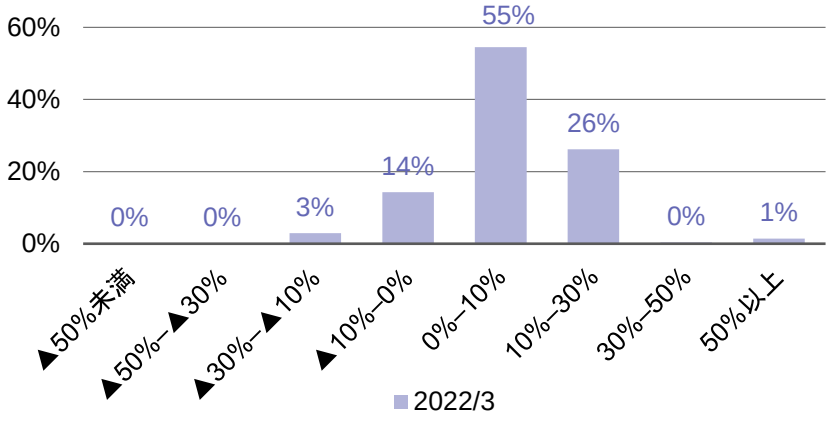
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄[40]のコスト・リターン[41]（2022年3月）

信託



	銘柄名	コスト	リターン
1	生プレワールド3	0.89%	0.94%
2	ロングドリームGOLD	0.92%	1.25%
3	プレミアジャンプ	1.02%	0.44%
4	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	1.15%	0.52%
5	フォーライフセレクト	0.44%	1.23%
6	プレミアカレンシー・プラス	0.93%	1.59%
7	ラップドリーム	1.31%	1.29%
8	ディアマイファミリー	0.57%	2.87%
9	ディア　マイ　ファミリーⅡ	1.26%	2.15%
10	生涯プレミアムワールド2	0.54%	2.61%
11	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	1.29%	1.53%
12	わくわくターゲット	0.50%	0.74%
13	アトランティック	0.10%	2.73%
14	生涯プレミアム	0.29%	6.39%
15	生プレ・ワールド	0.41%	4.87%
16	シリウスデュアル	0.10%	2.78%
17	ロングドリームプラス	0.69%	0.97%
18	ファイブ　ストーリーズ	0.33%	5.89%
19	ファイブ　ストーリーズ　プラス	0.52%	5.67%
20	ロングドリーム	0.32%	3.10%
	残高加重平均（■）	0.90%	1.09%

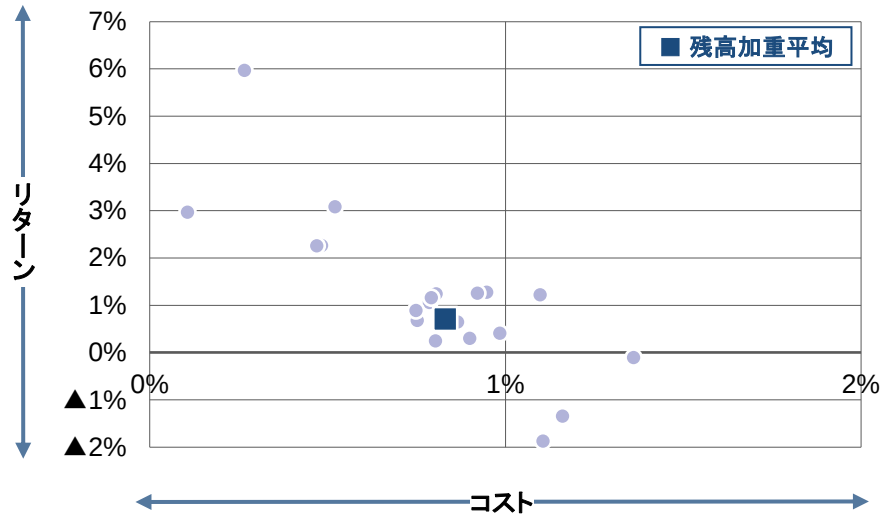
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率[42]



共通KPI（外貨建保険）

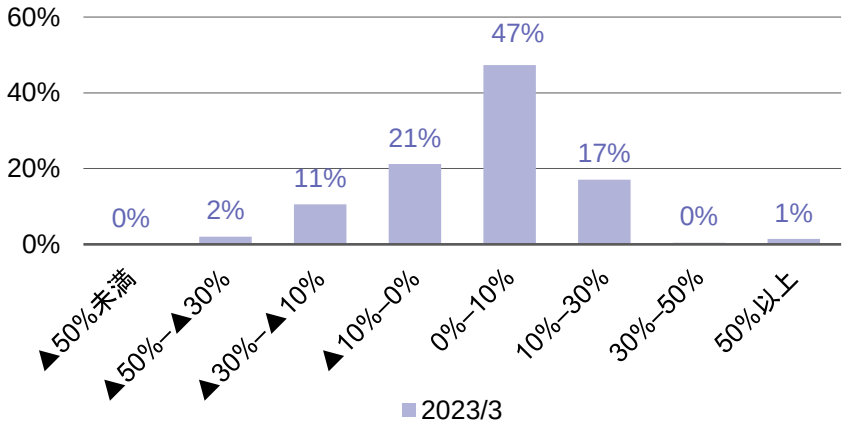
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄[43]のコスト・リターン[41]（2023年3月）

信託



	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアム・ワールド3	0.80%	0.25%
2	ロングドリームGOLD	0.79%	1.06%
3	生涯プレミアム・ワールド4	0.87%	0.64%
4	プレミアジャンプ	0.90%	0.30%
5	フォーライフセレクト	0.75%	0.68%
6	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.98%	0.41%
7	プレミアカレンシー・プラス2	0.95%	1.28%
8	外貨建エブリバディプラス	0.80%	1.24%
9	ディアマイファミリーⅡ	1.16%	▲1.34%
10	プレミアプレゼント	0.92%	1.25%
11	プレミアカレンシー・プラス	0.79%	1.16%
12	ラップドリーム	0.75%	0.89%
13	ディアマイファミリー	0.52%	3.08%
14	生涯プレミアム・ワールド2	0.48%	2.26%
15	生涯プレミアム	0.27%	5.97%
16	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	1.36%	▲0.10%
17	プレミアベスト	1.11%	▲1.87%
18	わくわくターゲット	0.47%	2.26%
19	アトランティック	0.11%	2.97%
20	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	1.10%	1.22%
	残高加重平均（■）	0.83%	0.70%

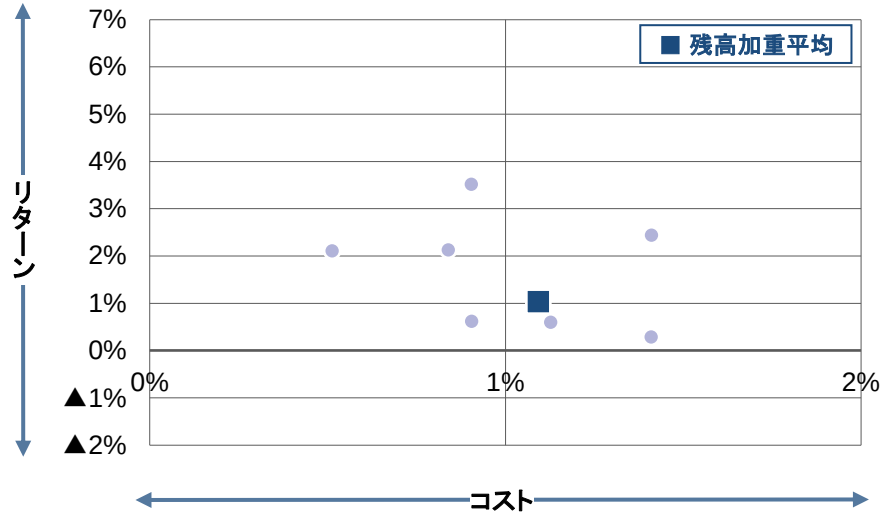
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率[44]



共通KPI（外貨建保険）

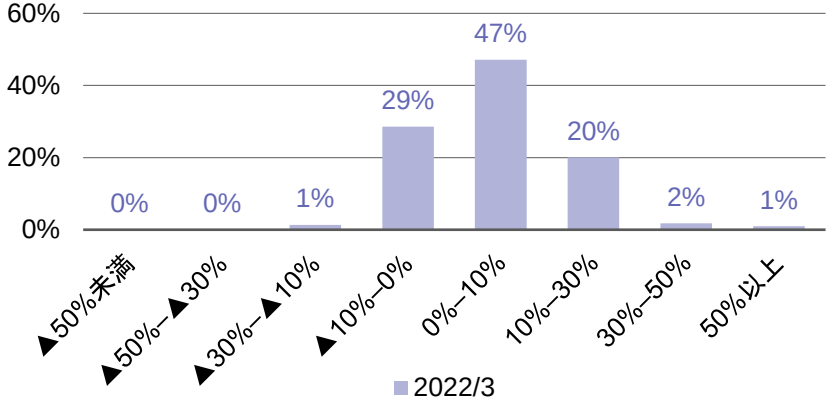
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位7銘柄[40]のコスト・リターン[41]（2022年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューションⅢ 終身保険型	1.13%	0.60%
2	エムソリューションⅢ 年金型	0.90%	3.51%
3	しあわせ、ずっと	0.84%	2.13%
4	ロングドリームGOLD	0.91%	0.62%
5	プライムターゲット2（外貨）	1.41%	0.29%
6	プライムターゲット2・年金（外貨）	1.41%	2.44%
7	プレミアカレンシー・プラス	0.51%	2.11%
	残高加重平均（■）	1.09%	1.03%

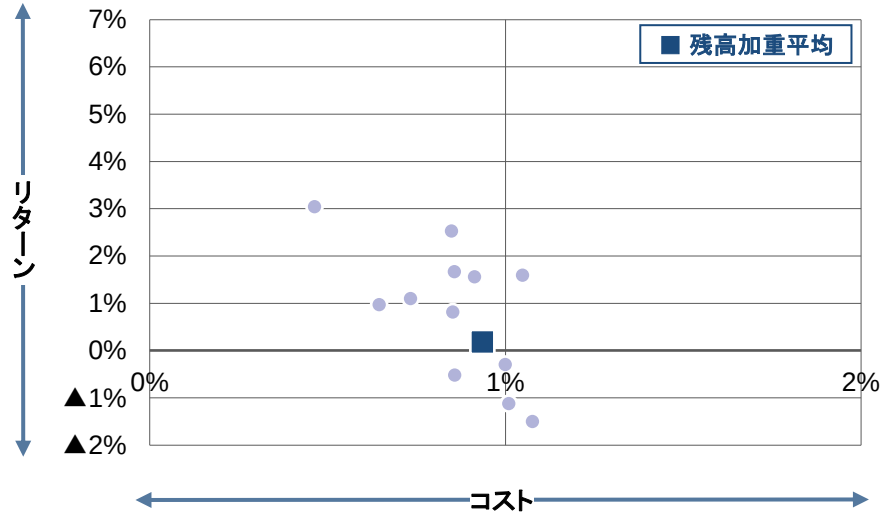
【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率[42]



共通KPI（外貨建保険）

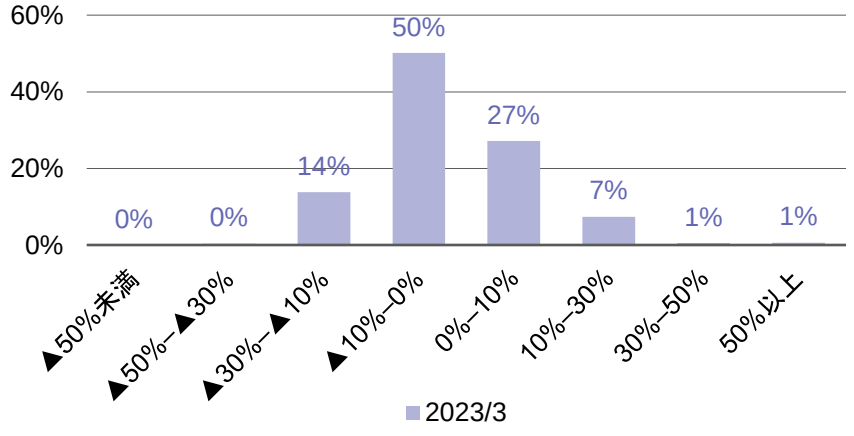
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位12銘柄[43]のコスト・リターン[41]（2023年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューション終身保険型	1.0%	▲0.3%
2	プレシャスギフト	0.6%	1.0%
3	エムソリューション年金型	0.8%	2.5%
4	やさしさ、つなぐ	0.9%	▲0.5%
5	しあわせ、ずっと	0.9%	1.6%
6	ロングドリームGOLD	0.7%	1.1%
7	プレミアプレゼント	0.9%	1.7%
8	プライムターゲット2（外貨）	1.0%	▲1.1%
9	プライムターゲット2・年金（外貨）	1.0%	1.6%
10	プレミアベスト	1.1%	▲1.5%
11	プレミアカレンシー・プラス2	0.9%	0.8%
12	プレミアカレンシー・プラス	0.5%	3.0%
	残高加重平均（■）	0.9%	0.2%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率[44]



※ 当資料におけるMUKAMの「ファンドアワード受賞本数」

- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR＆Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。
  当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR＆Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。
  選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

※ 当資料におけるMUKAMの「運用会社からの情報提供の質・満足度に関する評価」

- 追加型株式投信（除くETF）残高上位9社のファンドを保有する受益者（2,511名）を対象にインターネット調査を実施（株式会社マクロミル社に調査を委託）
- 全国20–79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査、サンプルの重複はなし
- 保有するファンドの運用会社からの情報に対して、その運用会社に対する以下4つのイメージについて選択（「その通りである」「まあその通りである」「あまりその通りではない」「その通りではない」のうち、「その通りである」または「まあその通りである」と答えた比率を表示）
  [信頼感]きちんと情報開示されており信頼できる、[納得感]保有している商品の情報がわかりやすく提供されるので納得感がある、[安心感]必要な情報が提供されており安心できる、[迅速性]タイムリー、丁寧な情報提供がされる